年中無休刊（日曜日休刊翌日）　大正七年七月二十九日　THE KEIJO NIPPO　（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）　第一千八百九十八號（一）

京城日報

本紙定價　壹部參錢　壹ケ月七拾五錢　▲郵稅拾五錢　郵送前金▲參ケ月前金貳圓六拾錢▲六ケ月同五圓廿錢▲壹ケ年同拾圓▲郵券代用一割增
廣告料金　五號十五字詰一行一圓　五號同特別二圓　二號七字詰同二圓　四號九字詰同三圓　六號十七字詰同一圓
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用三六〇番　守衛用二九番　營業用二六番　振替京城二〇〇番

七月二十八日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇佛軍浦鹽上陸期

北京天津駐屯の佛軍三百五十名は二十五日津浦鐵道にて上海に赴きたるが同地にて印度支那より派遣さるべき佛軍と合し一大隊を編成し佛船にて浦鹽に向ひ八月二日頃浦鹽上陸の筈なり（北京電報）

◇チ軍隨所歡迎さる

チ軍は到る處の住民より好感を以て迎へられつゝあり（哈爾賓電報）

◇米獨俘虜交換

米國々務省の發表に據れば米獨間にて俘虜交換取極めの爲めベルンにて獨逸代表者と交渉の筈なるが右協議會は八月末頃開かる可し（華盛頓電報）

◇聯合軍森林占領

聯合軍飛行隊及び砲兵はフエレルタルドノアを砲擊中なるが同軍はリツヅ森林の南端を占領せり尚昨今其他の地點にて戰鬪中なり（倫敦電報）

◇墺國新內閣首相

二十五日維納電報に據れば「クラム」マルチニチ內閣の文部大臣たりし男爵フライヘルホン「フサレク」は墺國新內閣首相に任命せられたり（ベルン電報）

◇對露回答協議

ウイルソン大統領と國務省との間に聯合國側對露計畫に關する日本政府の回答に就き協議中なりと（合同通信電報）

◇東京株式暴騰

東京株式市場は二十六日後場に至り愈々暴騰的氣分を示し月末乘替物を加へ大商內あり爲に立會五時に至れり尚東株十二圓同新株十三圓の暴騰を呈せり（廿六日午後四時半東京特電延着）

◇外米指定商追加

政府は今回名古屋市加藤重三郎、神戸內外貿易會社、同市大黑商會を外米輸入指定商として追加せるが前記三商店は夫れ夫れ買付發送せり（東京特電）

◇南滿製糖總會

南滿製糖會社は廿六日總會を開き六分配當を可決せり（東京特電延着）

◇京城電氣總會

京城電氣會社は二十七日定時總會を開き一割配當を可決せり因に當期利益は三十九萬四千二百九十六圓餘なり（東京特電）

◎獨講和提議說　問題に非ざるも今後益頻發せん

▲常習的運動　外電傳ふる處に據れば伯林フオルヴエルツ紙（社會黨機關紙）は獨逸が西班牙を通じて非公式に講和を提議せりとて其の條件を掲載せりと云ふ其節には未だ之に關する何等の情報なきも獨逸側は近來講和促進に關して何事かを畫策しつゝあるに非ざるかと推す可き節なきに非ず而も其は決して今回に始まりたることに非ず兩三年來マドリツド、ベルン、ストツクホルム等中立諸國の首府を根據として聯合各國に向ひ非公式に或は商務官或は宣教師等を使役し其他各種の手段により各種の講和運動を試み來りたることは掩ふ可からざる事實なり現に近く今春來の顯著なる事例として和蘭の前陸軍大臣を倫敦に派して非公式に講和の提議を爲さしめたること及び彼の墺帝親翰問題として有名なる佛國への講和運動等あり我國に對してすら開戰後一再ならず秋波を送りたるは是れ亦爭ふ可からざる事實なり

▲同一轍のみ　然れども是等獨逸の提議は或は對內政略或は聯合國に對する離間策等全然誠意なきものとして常に顧みられざりしは世間周知の事實なるが今回の提議說も亦恐らく之れと同一種類のものなるべく西班牙を介して云々とあるが如きも亦今春來屢々傳へられたる處に據れるものならん若し夫れ其の條件に至りては如何にも獨逸側に有利なるものあり到底有り得べきことゝは受け取り難く必ずや一片の想像に基けるものなるべし斯かる場合其の條件內容等は決して他に漏洩せらる可きものに非ず獨逸にして殊更之を漏らしたりとせば其の提議說なるもの、全部が一種の探りなりと解するの外なし西部戰場の戰勢は今日確に獨逸の爲めに不利なれども未だ和議を提唱せざるべからざる程に致命的の敗北なりとも認め難く獨逸外相の更迭とても決して獨逸の對外政策に急激なる變化を來したりとも思はれざるのみならず新外相ヒンツエは著名なる汎獨主義、帝國主義の人にてもあれば旁今日急に眞面目なる講和提議を試む可しとも信ぜられず要するに今回の和議提唱說は決して之を重き意味に解するの要なからんも獨逸國內社會黨の一派が講和促進の希望を有せることも亦明瞭なるものあれば此種の講和運動は今後益々頻繁に反覆せらるゝならんかと觀察せらる（東京）

◎哈爾賓の近狀

哈爾賓方面觀察者の談に依ればボクラニチナヤ滿洲里の兩國境閉鎖以來哈市の商況は沈靜し幾分夏枯れの感なきにあらざるも頃日黑河行き航路の開けてより又々商情蘇生の趣きあり殊に我出兵說傳はりてより留の昂騰と共に商況は一段の緊張を加へたるが哈爾賓は政治的及び經濟的に見るも北滿洲の中原にして前途の多望なるは勿論其經濟的潜勢力の偉大なるは南滿線のハルビン延長と我資本團の投資機關の組織とは現時の二大急務たらずんばあらず殊に北滿の形勢も南滿に於て觀察するに似ず極めて平穩無事にして我國出兵の何に依つて然るかを怪しむものあるも我勢力の進展固より不可あるなし左れど獨露の東漸と米國勢力の扶植等は餘りに非人に誇大に吹聽されしの感なき能はず過激派勢力の跋扈の如き殆んど問題とするに足らずと

◎新聞檢閲局新設　政府の新施設

政府は戰時に際し特に帝國の外交軍事に關する諸種の印刷物に對する檢閲取締を一層嚴重に行ふの要ありとし愈々臨時官設新聞檢閲局を設置し外交軍事關係の印刷物の檢閲の外安寧秩序を維持するの目的を以て內務省警保局の管掌事務をも併管せしめ右に關する檢閲取締は勿論政府より發表せらるゝ外交軍事其他諸種の公表は擧げて同局に移さんとするものにして該官制は內務省に於て立案中なるが近く脱稿の上は閣議を經て發布せらるべく右管掌事務の關係上內務、外務、陸海軍當局者の兼任官吏を以て組織するの外新に事務官をも任命すべく其所屬を內務大臣管轄の下に置かるべしと而して該檢閲局は臨時施設なるを以て經費の大部分は臨時事件費より支出するも人員增置等の關係上多少內務省豫算の膨脹を來すべしと（東京）

◈西部戰局大觀　獨攻勢失敗事情

▲第五次攻勢は七月十五日に始まりランス附近を除き其東西兩地區に於て起されたり其攻擊正面の延長地區を合して九十五基米突にして第一次攻擊の正面に比し更に廣大なり聯合軍の獲たる俘虜の言に依れば獨軍の攻擊第二日の目標はシャロンなりと是れ戰線の南方約二十八基米突に在る地點なり以て獨軍の企圖の遠大なるを知るに足るべし、然れども實績は如何ランス東方に於いて最も進出したる箇所に於いて約四基米突、所に依りては殆んど毫も進出し得ざりし地區もありしが如し而して獨軍の採用せる如き急襲的攻擊戰法に於いては其第一日及第二日の作戰成績に注目するの必要あり作戰の當初に於て好成績を得ざらんか爾後の進展は容易ならざるなり、果せる哉攻擊第三日以後獨軍は尙ほ攻勢を持續せしも徒らに損傷を增大するのみにして毫も進捗を見ず

▲攻勢漸く凋落せりランス西南方地區に於ては獨軍は十七日正午頃までに六乃至八基米突の進出に成功せり然れども是れ同軍二日半に於ける惡戰の總成果なるを考へんか、其成功の微弱なるを感ぜずんば非ず獲たる地區と失ひたる人命は相償はざるなり故に勿論大局より見て防者の戰勝たるを失はざるなり一千九百十七年四月十七日獨軍公報は獨軍前方陣地拋棄の理由を述て曰く

現時の火戰は陣地を平土化し深廣なる漏斗孔を生起せしむるを以ても早や固定的防禦は不可能なり故に我軍は最早や單一の線の爭奪を行はずして縱深ある前後數線の防禦地帶を通じて行はざる可らず即ち最も前方陣地に於ては成るべく人命を愛惜し以て既に多大の損害を加へ決定的に彼を疲憊せしむるを要すと次で獨軍事批評家は四日乃至五日に於ける英佛軍の攻勢に關し頻りに說を爲して曰く

是れ獨逸防禦の赫々たる成功なり獨軍の運動防禦は英佛の大攻勢を挫折せり聯合軍の作戰は失敗に歸せり

吾人は殊更に前記の獨逸公報の趣旨と同國軍事評論家の論法を藉り今次の會戰を批判せんとす曰く今次會戰に於ける獨軍の作戰は全敗に歸し聯合軍の防禦の赫々たる成功なりと

▲聯合軍防禦は既に誇稱するに足るものあり若し夫れ十八日以來エーヌ、マルヌ兩河間に實施せる佛米軍の攻勢移轉に至りてはマルヌ戰勝以來の佛軍戰史に光輝ある名を飾るものにして讚賞に値す佛軍はシヤトーチエリー以東、獨軍の攻擊を勇敢なる逆襲を以て到る所阻止し得たるのみならず十八日短時間の準備砲擊に次ぎ午前四時乃至午前五時を以てエーヌ、マルヌ間の攻勢に轉じ敵の虛に乘じ全然敵を急襲せり午後零時敵線に突進すること七乃至十二基米突、ソアソン南方地區に於て略ぼ十二基米突、午後二時頃に至つては騎兵團の一部支援步兵と共にウールシー附近に進出するに至れり此の佛軍の迅速なる進出は正に獨軍が稍や廣大なる正面に於て潰敗的狀態に在りしを語るものとす十九日以來當面の戰鬪は尙ほ激烈に繼續せられ兩軍互に一進一退の狀を演ぜしが二十日正午頃佛軍は尙ほ十八日占領地の大部を保有しあり十八日以來十九日正午頃に得たる俘虜無慮一萬七千に達し更に爾後刻々增加を來しつゝあり

▲戰略上良好なる著眼の下に實施せられたる此の攻勢の移轉は獨軍の震駭し敵は從來の正面に於て攻勢を繼續する能はざるに至り倉皇各所の兵團を繰出して應援しマルヌ南岸又側背に一大脅威を受け動搖の色あり獨軍の作戰は茲に於て佛軍の意嚮に從屬せざる可からざるに至れり獨軍の第一次攻勢以來毎次會戰に於ける聯合軍の防戰に關し獨軍々事評論界は說を爲して曰く「聯合軍は毎次獨軍に穿たれたる破孔を補塡に急にして斷乎たる攻勢に出づるの餘裕なく全く獨軍の意思に從屬し作戰の自由を失へり獨逸統帥部は假令ひ防勢に立つ時に於ても何等斯くの如き敵の拘束を受けたることなく昨年春季英佛軍大攻勢に際しては豫めアラス、エーヌ間の突出戰線を後退し聯合軍の企圖を破壞し之をして獨軍の選む所に攻擊せしめたり」然れども今次行はれたる佛軍の攻勢移轉に關しては善惡なき獨人評論家をして何等の批評を許さしめざるべし聯合軍の漫潮たる作戰は剛毅なる統帥と精鋭なる軍隊の實力に依るものにして聽て是れ聯合軍が終局の勝利を獲すべき表徵なり（某軍事通談）

◎米價は今が天井　在米は豐富

農商務省は地方廳に命令し內地米の在荷調査を開始したるが右に關し地方有力者の說に依れば現在農家は中農以下に於いて小作米を所持せる者極めて尠く寧ろ中農以上にあり然るに本年の如く米價昂騰したる時は毫も持米を食する事なく外國米を常用するが故に持米の分は多少殘存するが故に例年より少しと云ふが如きこともながるべく尙米價は更に昂騰するものと思ひ持米を手放さゞるものなきにあらず之がため內地米の國內需要に不足せるが如く唱ふるものあるも是は全然誤りたる見解にして內地米は大體において不足なり今日は米價の天井と見るべく故に今後地方より廻米或は增加すべく蓋し農商務省の命令に依り地方農家が如何なる程度まで正直に報告をなすべきかは甚だ疑問とす（東京）

◎出兵と留の騰貴

露貨留の哈爾賓並に長春に於る相場は日本出兵の決定說を傳へて以來終始好調を續け昨今のハルビン相場は金百圓對留五百四十留に引返せしがその事情を聞くに日本軍がハルビン以西に出動後軍票を用ふるか鮮銀券を使用するかは不明なるも何れにせよ奧地深く入り込む事とならば到底金票若くば鮮銀券のみにては物資の徵發上不便あるべく乃ち自然露貨の需要を生ずべしとの豫想と日本出兵後の西伯利亞北滿一帶の治安の保持確實となり自然商取引等も漸盛し來るべしとの想定より露貨の上向を見るものならんと

◎吉長線値上（變更）

吉長鐵道にては二十一日よりその貨物賃金を五割引上ぐる事とし滿鐵京城管理局に通知し來りしが都合上五割を四割に減じたる旨更に移牒し來れりと

◎西伯利郵便差立方變更

滿洲里側及び『ボクラニチナヤ』側とも露支國境封鎖のため西伯利宛郵便物は當分長春經由遞送不能となりしに付遞信局にては今後元山より浦鹽航路便による場合の外內地敦賀局經由として差立つる事となりたり

◎朝鮮沿岸航路

遞信局調査最近現在朝鮮近海及び沿岸定期船二百十三隻噸數四萬零四百六十三噸にして內譯は左の如し

▼近海及沿岸航行

隻數	噸數	經營者
▲命令航路		
七	七、一二二	朝鮮郵船株式會社
三	六、三九二	日本郵船株式會社
二	三、三一三	大阪商船株式會社
二	二、三九一	大連汽船株式會社
一	一、九七九	株式會社五友商會
一	一、三八一	阿波國共同汽船株式會社
一	五二四	對馬運輸株式會社
計 一七	二三、八九二	
▲自營航路		
一	七二三	朝鮮郵船株式會社
三	二、〇一二	尼崎汽船部
一	五一	順記公司
計 五	二、七八四	
▲官營航路		
四	九、三六二	鐵道院
合計 二六	三四、九三八	

◎京城煙草消費年額

既報の如く八月一日より賣價改正され從來より約一割五分高の消費稅を賦課せらるゝ事となるべく右に關し京城府に如何なる影響を及ぼすかを見るに目下大正六年中に於ける府內消費高を聞くに總價額七十四萬七千七百五十七圓なるが今假りに平均二割五分の値上として採算すれば京城府內に於ける消費者の新に負擔すべき額は十八萬六千九百餘圓を算するに至るべく尙大正六年中における消費量の內譯左の如し

▲口付卷煙草　消費數量一億二千九十五萬九千三百四十四本此の金高二十二萬五千零一圓を算す
▲兩切卷煙草　消費數量二億四千四百八十五萬四千百五十四本にして此の金高四十四萬二千四十三圓
▲刻煙草　消費數量に於て一千七百七十六萬七千九百十五匁にして此の金高五萬一千六百八十五圓
▲葉卷煙草　消費數量二十八萬二千七百二十九本にして此の金高二萬七千三百四十八圓
▲葉煙草　消費數量に於て百四十九萬五千七百八十枚にして此の金高一千六百七十九圓
以上を合計すれば其の消費金高に於て七十四萬七千七百五十七圓を算せり

◎京畿大豆調査

滿鐵會社にては大豆及び其の加工品に對し世界的調査の完成を企圖し既に調査に着手したるが這回京畿道廳に對し（一）管內大豆の重要なる產地及び其の生產高（二）管內大豆の重なる集散地及び其の集散高（三）大豆の商取引事情並に乙ふ事（四）大豆各種標本二合宛寄與を（五）大豆粕の各地輸移出入の狀況（六）大豆別品要商及び其の取引事情（七）其の他の豆作の農事經濟事情及び其の他の案件に關し調査方を依頼したりと

◎滿洲營農私見　著手すべき時期　熊本利平氏の談

全北不毛の地に熊本農場を經營しつゝある熊本利平氏は最近滿蒙各地を視察して歸鮮せしが其の談の要領左の如し

▲東拓の活動　土地農事家屋なぞいふものが第一に目につくが滿洲を旅して强く感ずるのは東洋拓殖會社の活動である、予は東拓放資の狀況も少しく調査し高利貸事のお話も聞いたが兎に角東拓は滿洲に於て滿洲式の活動をしてゐる、朝鮮では不動產擔保なぞの評價にその評價が內輪に見積られ借受け希望者は自己の必要資金より可なり少額のものに切り下げられると云ふ樣な實例も多く亦中々手間もとるが滿洲では其の點に於て極めて積極的の態度をとり土地評價や建物貸附けに餘程思ひ切つたヤリ方をしてゐる、コレがため奉天の如きは東拓の進出後景氣が頗るよいらしく市民は皆社に多くの感謝の念を捧げてゐる

▲滿洲の治安　滿洲で農事の經營を一つやらうとするには最も困るのは治安の保持の十分でない事である、奉天で聞いた事だが、例の日支協約により邦人が支那人から土地商租の權利を獲てゐて、それを地方が物騷なため權利の行使をなし得ぬ分が約四十萬町に達してゐると云ふ、面積が幾ばくに上るかは知り得ないけれど蓋し莫大なものであらう、予の如きは必ずしも警察權の委任を日本の手に受けねば滿洲內陸に於ける邦人營農の發展は期せられぬと論ずるわけでもないが少くも支那の警察廳に邦人の警務顧問や邦人巡査を入れる位の手配りをして頂かねば日本の滿洲發展は滿鐵沿線一帶の狹小な地積にいつまでも限局されて容易に張出して行けまい

▲有利の時期　滿洲內陸に行つて感ずるのは恰度目下の滿洲は明治三十七八年乃ち予等が全北の農事に着手した頃の朝鮮の狀態に酷似してゐる事である、で忌憚なく云へば滿洲營農の志しを有する者は多少危險でも今日行つて權利を收め又農事に着手するのが有利であらう、朝鮮現下の如く靜謐になつてから土地を買收し農事の經營をやらうとする事は混沌時代に着手したのに比すると著しく不利である滿洲も然りと稱して差支なしと信ずる、唯滿洲營農の着手は一二年前が最も有利の時期であつたか、今日が好いか、更に二三年後が手のつけ時であるかは後日に至つて回顧せねば俄に今日に於ては斷じにくい、然し乍ら現下の狀態より觀れば今日の進出は必ずしも遲いとは云へない

▲滿洲水田不利　私の見た所では滿洲の水田は駄目であらうと思ふ、奉天で牧山代議士とも面談した張作霖將軍に會見したら將軍も滿洲の水田が氣候の關係上有望ならず危險性を帶びてゐる事を語してよいと話してゐたが予も此の說に賛する、勿論滿洲南部に於ける水田が絕對に望みがないとはいはぬ、然し水田を耕作するよりも滿洲は依然大豆や高粱が作物として滿洲特產の大豆なり高粱なりを栽培した方が有利である、更に日本人の農夫を容れる餘地があるかと云ふにコレは全く不可である、朝鮮でさへ私の農場などは三千戶からの小作人を皆鮮人にしてゐるが少數の內地人過去に於て使つた經驗はあるが色々の關係上駄目であつた、滿洲の支那人は勞働者として鮮人以上であつて耐寒耕作共に內地人に比し優秀である

▲營農の土地　滿洲の土地は北に行けば行く程肥てゐる、長春以北第一松花江第二松花江沿岸は最も肥沃である、然し乍ら北滿に邦人營農の手を進める事は若干の危險が伴なふやうだ何となればコレは予の杞憂かも知れぬけれど將來國際關係の變遷は北滿地帶をどのやうな位置に置くかも分らないからである、乃で予は多少地味は劣つても長春以南の地に場所を擇むのが賢であらうと思ふ、それでもまだまだ際涯を知らぬ程の面積が連亘してゐて內地人營農者を幾千でも容れ得る餘地を有してゐるのである

◎三井同族出發

二十七日夜入京せる三井同族七名は二十八日朝元山へ向け出發せり

□號外配付

下關構內火藥爆發事件に關し廿八日號外を發行して市內に配付せり

人事消息

▲奧野憲兵中尉　二十八日朝大阪より入京清光館へ
▲中村民五郎氏（中村組）　二十八日朝[illegible]府へ
▲龍岡義夫氏（京畿道警務部長）　二十七日夜別府へ
▲保科子爵（總督府技師）　廿八日朝東上
▲アーサー、ハイドレー氏（京城駐在英國總領事）　二十八日朝水原へ
▲中平步兵少佐　二十七日夜內地より滿洲へ通過

☆茶前酒後☆

功成り名遂げた後帷幕の人となつた松川前朝鮮軍司令官が丁度故兒玉藤園將軍の十三回忌に當つて大將に陞進し軍事參議官に任ぜられたのは妙な因緣とも云へやう又た多少の感慨がある▲松川大將は大佐の時分故松石中將と共に日露戰役當時の參謀本部の双璧と稱せられた人で藤園將軍から最も寵遇を受けた一人である▲一大佐の身分で滿洲軍總司令部でも少將の職務を委されて居た程で將軍と大佐との間には殆ど階級を撤して爾汝の交を結んで居た▲或時大佐がアンペラ圍の風呂へ素ツ裸で飛込まんとすると將軍が先に這入つて居たので大分面喰つて匆々退却しやうとすると將軍は大笑しつゝ『マー宜い一緒に入らうぢやないか』と來たので大佐も御免を蒙つて這入つた▲階級のやかましい軍人仲間で大將と大佐が混浴するなんて恐らく空前の新記錄だらう▲處が磊落な將軍は『何うだ、一つ背中を流して貰ふか』と云ふと大佐は早速流しにかゝつた▲將軍は得意滿面で『陸軍大佐を三助に使つたのは蓋し吾輩の外にはあるまい』とニコニコする▲其の樣なる事には何の頓着なくゴシゴシと流し終つた大佐は今度はグルリと將軍の方に背中を向けて『サア今度は閣下の番です』▲流石の藤園將軍も之には面喰らつて『イヤ夫れ丈けは許して呉れ』は今尙ほ軍人仲間の一笑話となつて居るこは某軍人の話▲今や當時の大佐は陸軍大將軍事參議官に任ぜられ而も時恰も藤園將軍の十三回忌を迎ふ松川將軍の感や如何

櫻岳　藤戶計太著

最新朝鮮地理

定價金二圓　郵稅十一錢
クロース金文字入　八百五十頁

著者は地理研究に熱誠にして半島の言語、風俗、慣習の調査をなせる朝鮮通にて全道に殆んど足蹟を印し學生時代に支那富源楊子江を著し盛名頗る嘖々たりしものありしが今回一面目の地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして內容豐富

一本書は第一編全道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し

第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戶口、著名山河等を記し

第三編各地七百餘ケ所に於て沿革、位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所、舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は內鮮人を問はず官民を論せず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各種學校、講習會の良參考書なりとす

一本書は朝鮮を經營し又旅行せんとする島各方面の事情を遺漏なく通曉せしめ面の事情を適宜に取捨し讀者をして通覽一過直ちに行政に商工業に金融に經濟に運輸交通に便ならしめ遺憾なからしめたり

一本書は朝鮮の開發に活動するものゝ爲めに充分なる調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ毫も薄氷を踏渉するの危險なからしめたり

一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調査資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探充に便せり

一本書は資材正確周到に活動するを得せしむるを注意せり

一然るに本書は序次懇切を極め讀者をして多趣ならしめ誠に空前の好著なりとす詩文を各所に配在し朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む

發行所　京城太平通二丁目　振替京城二一〇〇番　京城日報代理部
取次所　大阪屋號　日韓書房

大正七年七月一日改正現行

○下關驛構内に於て 火薬廿萬斤の大爆發

死傷者百名を出し列車も破損す

二十七日午前零時下ノ關驛構内に火薬二十萬斤艀船に運搬中爆發し附近の家屋及船舶破壊し死傷一百名を出し將に發車せんとせる京都行四十四號列車も破壊せり（門司至急報）

▲屍體續々發見さる

火薬は貨車より荷卸せる物貨状を目睹せる下ノ關驛員の談に依れば火薬は貨車より荷下しありし物なり仲仕の死體十二個程發見せり他は不明なり京都行列車旅客の死者は無く負傷者は二等客に多しと（門司電報）

▲進行中の旅客列車 大破損を受けて

乗客五十名鐵道員廿名負傷
現場の石垣百尺崩壊飛散す

鐵道院公報に曰く二十六日夜十一時五十六分下ノ關驛構内積込場にて火薬艀積作業中爆發し折柄竹崎踏切進行中の京都行旅客列車の一等寝臺食堂車中央部に何物か墜落の爲め大破し寝臺墜落二等寝臺車の屋根は破壊し其他震動の爲客車ガラス全部破損し乗客五十名負傷せり又下ノ關に繋留中の門司丸は破損し運航の見込なし爆發の現場海岸の石垣は約百尺崩潰飛散し作業中の人夫約三十名は土砂に埋沒し全部死亡の見込なり又附近にありたる貨車多數顛覆西上屋も破損して職員二十餘名負傷せり（東京至急報延着以上號外再錄）

▲即死廿七名を算す

負傷者七十即死者尚多數の見込
爆發の責任は鐵道院か

下關慘事に關し二十七日正午迄に判明せるは死者二十七名負傷者七十名なるが行方不明となれる者六十名即死者は尚調査の結果増加す可き見込なり火薬爆發の責任は火薬全部を貨車より積卸し内國通運會社に引継ぎを了したる後なれば同社にあるも引継未了なれば鐵道院の責任なりと（門司特電）

▲爆發の原因奈何

田中陸軍省經理局長は取扱疎漏ならんと言ひ目下當局に於て各方面を極力調査中

爆發せる照明彈火薬は○○よりしたる爲め夜間にも拘らず關門用達會社は艀船二隻にて積込み居り○○に向け廻送すべきものなりしが爲め○○可く二十五日來積荷を急ぎ居りしも雨の爲め妨げられ延期丸も出發延期の外無かる

何し然して火薬爆發の原因に就き陸軍省田中經理局長曰く、原因は不明なるも或は火薬運搬人夫が火薬箱を岩石の上に落したる爲爆發せしものらしく其破片が列車に當りたるものならん當局は此原因に就き嚴重に調査の豫定なりといへるが、爆發原因は尚不明なるも田中局長の推測通り火薬取締の疎漏より此の慘事を惹起せるもの、如く目下其筋にては各方面より調査中なり（廿六日午後二時東京發 廿八日午後一時着）

▲貨車卅輌石油箱數百破損

内國通運の屍體捜査

下關市内慘狀非常にて停車場及び竹崎附近硝子破れ竹崎遊廓にては三戸破壊され其他被害無數なり又プラットホームに積まれし石油箱數百爆破し其附近の貨車大破損有蓋車三十餘輌も亦破損し尚構内の建物は殆んど破壊せり亦内國通運にては人夫を督して現場を發掘せるも尚殘火ありて危險なる爲め一先づ引揚げ廿七日朝は危險幾分薄らぎたるを以て更に屍體の捜査を行ふ筈にて尚埋沒者四十名ある見込なり（門司特電）

▲下關各病院 活動を開始して遭難者を收容す

下關市中の各病院は椿事の發生と共に直に救護班を編成し徹宵汗みどろとなりて死傷者の收容手當に盡力したるがその活動頗る目覺ましく二十七日午前六時頃迄には全部收容するを得たりと（門司特電）

火薬爆發の慘事を惹き起せし下關驛構内の一部

◎下關全市大混亂

驛構内のレール飛んで附近人家の壁を貫く當時の光景
廿八日朝釜山入港の——飛騨高麗丸事務長談

二十八日朝釜山に入港せる高麗丸飛騨事務長は下の關の大慘事について語つて曰く

本船は二十六日午後三時釜山出帆非常なる難航を續け二十七日午前六時下關に到着したが甲板の上から不圖海岸を眺めると停車場構内の一番奥の棧橋三菱貯炭場の附近の

◆岸壁は滅茶 滅茶に崩れ家と云ふ家は交塵木ッ葉の如く壊れてゐる此岸壁は平生荷役をせぬ所であるが折柄颱風一過のあとではあり或は釜山の如く怒濤狂瀾が打寄せた結果であらうと想像してゐた所軈て驛員が飛んで來て昨夜は實に大變だつたと云ふ何が大變だつたと訊くと實は二十六日の眞夜中に火薬が爆發して

◆此始末だと云ふ話し爆發の刹那は恰度百千の軍艦が一齊に砲門を開いて砲撃を開始したのではあるまいかと思ふ程凄じい大音響が起り驛員はアッと云ふ間もなくバタバタと將棋倒しになつたが折しも雨は降る暗さは暗し夜が明ける迄は何が何やら薩張り見當が付かなかつた相である乃で私は乗客を卸して仕舞ふと直現場に駆付けたが親しく目撃すれば是は又意外の慘状に怱ち慄然として肌に粟の生ずるを覺えた岸壁は

◆混凝土固め の極めて頑丈なものであるがこの岸壁が幅四間長さ二十四間許りは跡形もなく崩壊してゐる岩壁附近の貨物ホーム數十棟は亞鉛屋根と云はず鐵材と云はずヘシ飛んで仕舞ひ亞鉛屋根の如きは恰も紙屑でも固めたやうになつて居る折柄貨物ホームを始め附近の線路には二百輌の貨車がゐた相だがこれ等の貨車は何處へ行つたやら影さへ見えず眞黒に焦けた貨物が彼方へ一個此方へ一個と僵れな

◆殘骸を横へ てゐるのが如何にも當夜の慘状を物語つてゐるやうだ無論レールなどは飴ン棒のやうにクニャクニャに千斷れて仕舞ひ中には十二三町位遠方に飛んだのもある相だこれは親しく目撃した譯ではないが現に現場から十二三町も距つたニコニコ湯には長さ八尺もあるレールの破片が飛んで來たその破片は恐ろしい勢ひで表の壁を突貫き更に裏手の壁まで突貫いたと云ふことである豊前田町淨福寺の境内にも

◆レールの雨 が降つたが長さ六尺もあらうと云ふ其中の一つは本堂の瓦屋根にグサリと突ッ立つたと云ふから恐ろしいこの慘事と同時に驛構内の待合室や山陽ホテル、附近の各旅館、豊前田以西の各町内などは悉く硝子や瀬戸物を微塵に壊はされ殊に附近の劇場稲荷座では恰度芝居のハネようとする時光線取りの硝子が墜落した爲め十數名の重輕傷者を出したなど大變な騷ぎを惹き起した相だ其他小さな被害迄擧げると際限がなく慘状の甚大なると相俟つて下關全市は大混亂を呈してゐた

◆指揮監督 の労を執り通運が陰迄を請負つてゐたので當夜は森川下關支店長、久保副支店長の外門司の大橋支店長も態々出馬して多數の從業員は四方に出張して嚴重に警戒してゐたが爆發と同時にこれ等の人々を始め從業中の通運社員七名運輸部員數名仲仕五十名は忽ち行方不明となり僅か一兩名だけが不思議に命を助かつた丈ことで同時に關門連絡船門司丸は修繕に二十日間を要する損害を受け關釜連絡船高麗丸も亦損害を蒙つたが驚いたことにはあの厚い厚い

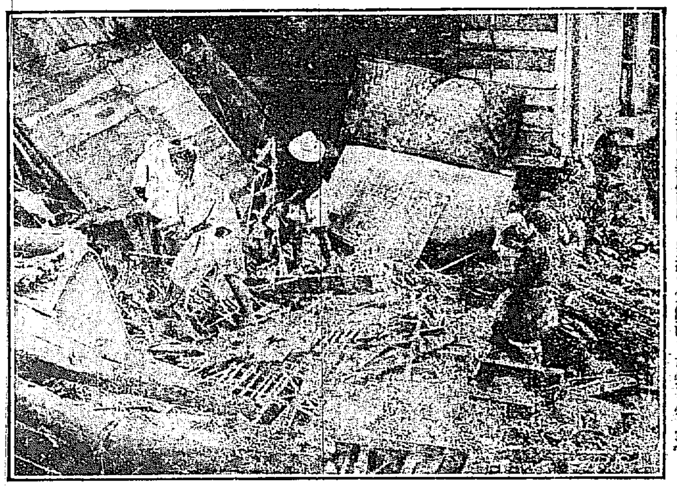
◆喫煙室の 裝飾硝子が木ッ葉微塵に碎けて仕舞つたことである高麗丸の船尾で當直の船員大工數名が梯子に倚り懸つて荷役を見物してゐたが一大音響と共に打倒され後で調べて見ると梯子は形も殘さず壊れてゐたと云ふ（釜山支局電話）

▲遭難乗客の慘事實見談

一乗客曰く下關から少し來ると左手に火焰が揚ると間もなく列車の硝子窓が大音響と共に破れ硝子の破片が飛んで負傷した人も多くあり海水を浴びた人もありました、波に跳上げられ一時は列車顛覆するかと怖れました

▲連絡船壹岐丸も 硝子窓梯子を粉微塵にさる

連絡船高麗丸より上陸せる某氏の談に爆發した火薬二十萬斤は内國



廿六日夜釜山の暴風雨にて怒濤の爲倒潰した寝室の一部

◎慘澹たる洪水の跡

散々に荒された南濱の一帶
釜山暴風雨被害後報

釜山南濱海岸通一帶に於ける狂瀾怒濤に洗はれたる被害は既報の如くなるが其後調査せしに崩潰地點三箇所延長四十五間を通じて百餘坪

▲浸水地面積 千九百餘坪外に牧の島洲岬の渡船場棧橋五間決潰、果樹園、蔬菜園約十町歩の浸水流失、釀造庫、製塩庫の浸水釀造用の貯藏石炭の流失約五十萬斤、漁船艀船等の破壊難破しく其外屋根瓦、亞鉛葺、板塀等吹き飛ばされたるもの釜山鎭にては鹽谷關藏氏持船二隻流失不明三千餘圓等其他釜山港内に於ける

▲總損害見積 高約三萬圓を算すべしと其當時の概略は既報の如くなるが廿六日朝來風強く降雨はげしく午後二時頃より烈風となり市中の往來全く杜絕の有樣なりしが午後六時頃より益々風浪は猛威を加へつゝあり折柄舊月十七日の夜とて滿潮の時刻に入りたれば海潮は怒濤毎に高く浪は一層其飛沫は數戸の屋上を打越ね長手通に潮の如く流れ

▲街路を洗ふ 潮勢にて慘状目も當てられず夜九時頃釜山警察署は署員全部を指揮し七十五名の消防夫を配分なし出動警戒に努め府廳よりは若松府尹外府吏員出動あり危險區域の各戸に對し一時も早く避難すべきを命じ其混亂名状すべからず尤も危險なりしは上田勝藏、智戸勢オサヘ、三次、蝶々の居住する藝妓屋形、朝日、瀧光、桐岡、生島等は決潰の箇所にあり

▲大正公園下 新に設備せし小學校生徒騎合水泳場は激浪の爲全部浚はれ大損害ありしが再設すべしと電燈線は大なる被害なきも同夜中に切斷されしもの數個所電柱一本傾斜せしものありたり

◎釜山又一錢上 白米の小賣値

昨今益々玄米天井知らずに高昇するにぞ阪神地方は白米四十錢下關は一日一錢上にて廿八日より又々一升三十六錢に小賣値段決定したり（釜山電報）

◎輕鐵顛覆

二十七日午前七時四十九分慶北輕鐵の半夜月驛を發し大邱に向ひたる機關車一輛無蓋貨車二輛客車三輛より成る輕鐵列車が同日午後七時五十五分頃大邱を距る六哩達城郡解顏面坪里地内を進行中突如機關車と無蓋貨車二輛顛覆し客車一輛脱線したるが火夫一名輕微なる擦過傷を負ひたるのみにて其他の乗員及び乗客は無事なりしと顛覆の原因目下取調中

◎漢江増水

漢江の増水は二十八日正午龍山元町下に於て十八尺に達し居れり

◎鍬の柄で壓殺

全南羅州郡旺谷面月川里居住東拓移民木藤德島縣阿波郡大叉村岡田四郎太郎(三二)は二十四日午後九時頃水田の水引きのことより同里の農金某(三〇)と水田中にて喧嘩を初め互ひに格鬪中金は携へゐたる鍬にて岡田を亂打し同人の打倒れたる所を鍬の柄にて咽喉を強く壓迫して遂に絶命するに至らしめたり（急報）

依り釜山憲兵分隊にては直ちに犯人の捜索に著手せしが加害者は現場より姿を晦ましたるより目下嚴探中なりと

◎安東野球團の平壤遠征

安東野球團は既報の如く二十七日午後六時半發列車にて平壤へ試合のため赴けり應援總指揮者は三井物産の永原氏にして野球團の總員は四十餘名なり（安東縣）

◎飛乗り負傷

京城電氣株式會社の光熙門行電車が二十六日午前九時頃西大門一丁目を進行中東幕の趙如妻張姓女(四六)が飛び乗らんとして打倒れ輕傷を負へり

◎溝に嬰兒の死體

京城貫鐵洞八番地先の下水溝内に朝鮮人らしき嬰兒の屍體を新聞紙に包みて棄てあるを二十四日發見せり目下犯人嚴探中

◎崖から墜つ

京城齋洞安用錫(一〇)は二十四日午前七時三十分頃北部洞より齋洞に通ずる坂道を通行中高さ一丈ばかりの崖より墜落して重傷を負ひ生命危篤に陷れり

▲京仁附近に於ても最も暑い日は例年大暑から立秋まで即ち七月下旬から八月上旬に亘る二十日間で雨季の遷延に依つて多少の變動はあるが年中の高極は京城では七月末に起つて三十四度餘に達し仁川は前や遅れて八月五日前後に起り三十三度内外に達するそして京城は仁川にくらべて毎時も約一、二度方高温なのが常だ▲斯くの如く京仁地方の極暑は今後約何日内外であるか二十五日の如き猛暑は全く稀の現象であるから本年は恐らく之れ超過するやうなことはあるまい』とは測候所員の話し▲黄金町通りの一肥とやら云ふ靴店に優曇華が咲いた同店では家運隆昌、商賣繁昌の吉兆だといふので頭を抱へて大喜び早速店頭に觀覽隨意と書き出し見物が來るとお茶菓子まで出して歡待してゐたとは面白い▲然し斯して大騷ぎをする優曇華もクサカゲロウと云ふ昆虫の卵と知つては『オヤ／＼』と今更のやうに開いた口が塞がるまい

毎週ポンチ◇◇鯰釣り◇◇助太郎畫

（一）釣り好きの茶目助京城近郊の釣り場と云ふ釣り場では糸を垂らしてみたが大人の釣にはよくかゝつて自分のだけは喰ひつきもせないのに憤慨して今日は遠く永登浦迄出掛て行つた（二）早速停車場近くの蓮に用意の糸を垂らしてみたが此處の鯰も中々賢いとみえて容易に鈎に喰ひつかない五時間もかゝつて唯一疋釣つた所だこれでは我方がないと茶目助大に考へた末停車場のおぢさんに交渉して砂掬を借り受け蓮の傍に穴を掘つて其穴と蓮と相通ずる様に小さい隧道を作つた（三）これで宜しいと其穴に持つてきた蚯蚓を全部投げ入れた暫くすると弁香を嗅いだ大鯰小鯰來るは來るは隧道の中でおしあひへしあひお終には餘りこみ合つて苦しまぎれに飛上つた奴が數十尾茶目助すつかり成功したので大喜び停車場のおぢさんに半分預けて京城へ

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 當る七月廿六日より臨時特別大興行 ▲實寫 佛國興地 △米ミウチュアル會社傑作 滑稽活劇『チャプリン番頭』五千呎 △伊國メトロ會社秀作 ◎探偵活劇『覆面騎手』全五巻 ◎新派悲劇『生ける屍』全五巻

三町治二丁目 浪花館 電話二六〇番
▲京阪落語藝術會一行 ▲毎夜午後七時より開演 …… ▲落語 ▲大切

黄金館 電話二六三七・二三六六
天然色活動寫眞會社京城釜山一手代理店 當る七月二十七日より特別大興行 ▲第五 連續『百萬弗の秘密』第九第十 ▲新派悲劇『花三勇士』全四巻 ▲天活會社『喧嘩切番』

京城本町 壽館 電話一〇五〇
▲各派聯合納涼浄瑠璃大會 七日目語り二十七日（いろは順）……

有樂館 電話（落下）二〇五番
東京小林商會專屬一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 當る七月二十六日より公開 ◎金鵄情話『奇宿生』全五巻 ◎自然劇『南方の判事』全五巻

◎人の氣づかぬ他に類のない職業
有望新事業は男女誰でも自宅に三ヶ月間に製藥士 月收入多百圓以上
東京市本郷追分町 日本通信……

店員募集
一、記帳係 一、外交員 一、洋服裁縫職工 但年齢不問
京城太平通二丁目 富田屋商店 絨部 洋服部 電話七一三番

鯨問屋 香月商店 鯨尾羽毛 皮肉類 夏季刺身代用品に最も適當 東洋捕鯨株式會社特約店 大販賣 （京城明治町二丁目 振替口座四八四六番）

釜山名譽商店案内

酒精 西貢米 砕米 砂糖 麥粉 燒酎 （釜山埋立新町 電話長一〇八番）

雑貨問屋 月刊發行 洋酒 鑵詰 糖粉 釜山あづま商店 電話二三九番 振替京城三九番

乾物 糖粉 煙草 雑貨 卸問屋 釜山 山西商店 電話四〇七番 振替京城二〇三番

一邱、中谷幸次郎、山田政春、前田久子、木村三郎、同さち、同三明、同三江、姉谷みれ、同賀明、小澗與吉、齋藤二郎、出又正一、龍田寛夫、同つれ、聖し、有泉作太郎、同茂、同島井源三、門馬敏
二等(四十九名)野淵…三、大林龍市、…水祖千、同光子、力華一、新谷俊藏、上野組太郎、高木庄兵衛、濱田利七、熊本定一、中村金尾、前田昭、樋口利雄、白井
三等(三百五十一名)
◎廿七日午後入港壹岐丸 二等客
一等(四名)山之城民平、加藤保忠、宮田男、澤田久角、島川大久弘、北玉孝、小林德太郎、山縣元雄、佐伯丹太郎、…十郎、同野區、千家松麿、石田文一郎、石田ふゆ、河野徳三、中牟晃

◎露國と南滿洲 二昔の夢

◇春秋電駛して廿二年◇ 當年に於ける露國の施設

想ひ出だせば今より二十二年前明治三十年十月獨逸の膠州灣占領に其端を發して露國の大連灣獲得こなり途に露國が南滿洲の經營に當つた事は今猶ほ人の記憶に存する所であるが春風秋雨二十年當時臥薪嘗膽の恨みを呑んで絕東に屏息してゐた我帝國は其後三十七八年戰役の結果、露國の勢力を南滿洲より驅逐し今またスラブ帝國の滅亡によつて北滿洲は蘭麻の如く爲めに今回の出兵を見るに至つた事柄を想起すれば世態の變轉涯りなきに何人か無量の感慨に打たれざるものがあらう歟。さるにても想ひ出深き南滿洲の地が露國の經營に移つた當時の狀態は何うであつたか之を追回するも亦興味ある事であらう次に掲ぐるは細川砲兵少佐の調査に成るものである

露國に代り帝國政府が南滿統治に苦盧する事玆に十餘年曩く山東省に於く大和民族の發植年々歲々緊きを加ふ今や南滿の地漸く産起り工業亦盛ならんとす快心なる哉此盛運に邂逅せるもれ共既に往に遡りて經治時代に於ける施設經營努力の跡を追回すれば其規模の遠大なる轉た懸隔世の感なくんばあらず彼を知り己を識る豈に夫れ獨り兵法の要訣ならんや之れ予が露治時代に於ける南滿經營の一端を紹介し以て溫古追回の資に供する所以も亦恐ら徒爾ならざるべきを信ずればなり(細川砲兵少佐)

露國と旅順大連(一)

ダルニー港の占領は千八百九十九年十月下旬獨逸が膠州灣を占領するや否や當時露國外務大臣たりしムラウイヨフの建議に依り大連灣を獲得し置く事は露國將來の發展上最も緊要なりこの主張を發表せしに始まり次いで同年十一月十一日の建白上奏こなれり當時建白書の要旨は左の如くなりし。

太平洋上に於ける我が艦隊の爲め便宜なる不凍港を有せざるの事實は露國の爲め忍ぶ能はざる所なり吾人は須らく極東に於て一日も早く大連灣の占領を確實にし以て素志を貫徹する事に努めざる可らず

と、而して當時之等の建白を爲す爲めに幾多の調査機關を設け以て細部の調査を試みたる後の調査報告は實に左の如くなりき曰く『芝罘駐在領事の詳細なる調査報告に依れば遼東半島の東南岸即ち大連灣附近に於て良好なる港灣四箇所あり即ちヴ井クトリヤ灣シャク灣及びオディンコヴの四箇所あり右四個の港灣は何れも廿二呎或は其れ以上の吃水を有する船舶の碇泊に適し殊にシャンク灣ハンド灣及びオディンコヴ灣は直隷灣内に於て北風盛んなる

◇◇冬季には大に便宜◇◇

なり而してヴ井クトリヤ灣は夏季南風の際には有望なる碇泊所なりこす十八の言に徴するも未だ曾て冬季結氷したる事なく旅順に比較して遙に優越せる特點あるこには其實狀に通曉せるもの一等しく唱導する所なりこす 加之若し日本こ國交斷絶せば彼が直ちに釜山を占領し朝鮮海峽を封鎖するは明かにして其際若し我が艦隊が朝鮮東岸に於て唯一の(馬山浦の意なるべし)海軍根據地のみならんには吾人は全然日本領海内に封鎖せられ作戰根據地より遮斷せらる、の止むなきに至る可し若し之れに反して遼東半島内に良港灣を占領するを得ば假令日本より斯る攻撃に遭遇するも黃海を經由する出路は完全に開放せられあるを以て安全なりこす』こ外交に巧なる露國は

◇◇電光石火的辣腕を◇◇

以て巧に清國政府の承認を得て露國の艦隊を始めて旅順及び大連灣に入港せしめたるは同年の十二月初旬なりき玆に於てか世論漸く沸騰し列國の嫉視亦囂然たりしを以て翌年一月中旬ムラウイヨ伯は倫敦駐箚公使をして英のセントシエムス內閣に宣言せしむるに左の提議を以てせり。

若し露國の太平洋上に於て商港を得るとせば其は世界各國の商船の爲め開放すべく機會均等なる通利の許に自由に入港碇泊し得るの權利を與ふべし

この言を以てし英國の欲望に適合すべき條件を提言せり。斯くの如き提言の許に暗々裡に同意を得て大連灣の占領的基礎を固め一部を軍港こして設備するの計畫なりしも其後に至り

◇◇種々なる議論出で◇◇

大連は全部商港こなすの可なる說多數を占めたり就中クロパトキン大將の軍事的見地よりなせる詳論は其の重きをなしたる如く左の提言は此間の消息を窺知するに餘りあるものなり即ち千八百九十八年二月二十三日附を以てクロパトキン大將の提出せる意見左の如し。

(イ) 我租借すべき地域の面積問題に關し主こして注意すべきは軍事的行動の起りたる際に我艦隊を以て之を防禦するに如何にせば必勝の地位に立ち得べきかを最先に顧慮する事之れなり此要件に適合すべき港地域はアダムス港より貔子窩市迄に至る地方なりこす(但しアダムス高地を含有するものこす)

(ロ) 旅順口に於ては軍港を設備し海岸及び陸正面より同港灣を安全に防禦するを要す

(ハ) 大連灣は商港こなし入港路に位置する二個の岬並に其間に存在する二個の島嶼に防禦設備を爲す必要あり陸正面に就ては大連市街の爲め要塞の建設は未定の事實なるも權利丈は清國より獲得し置くの必要あり

(ニ) 旅順港は外國航船の爲めに閉鎖すべく大連灣は我海軍官憲の特に指定せる一部を除き他は貿易の爲め開放さるべし

以上の如き提議は皇帝陛下の裁下する所こなり玆に初めて旅順港を軍港こなし大連灣を商港こなすの議纏まり千八百九十八年三月十五日締結せる北京條約に具體的の成案を見るに至れるものなり

◇人の目を著めぬ 忠淸北部の寶庫

◆仁川の商圈内に有乍ら◆

忠淸南道西北部所謂禮山平野を中心こして唐津牙山洪城瑞山等の諸郡こ仁川この密接なる商關係は之を他の沿岸取引先に較ぶれば正に一頭地を拔いた有力なる仁川御得意先である然るに仁川では未だ此の忠南の沃野に如何なる利源あり將來仁川の商圈擴張に當つて

如何に有望なる

競爭市場であるかを著目する者は頗る尠い樣である從來仁川の確實なる商圈內に置かれたものは忠南西北部に在つては唐津禮山牙山の三郡だけで其他同方面に於ける洪城瑞山青陽等の諸郡は之れ即ち群山仁川の競爭場であつた然るに近年に至つて著るしく此の競爭場裏に群山勢力の扶植せられた事は或種の理由が存在するこは云へ仁川商人の大いに著眼考慮を費さなければならぬ處だせられて居る

商圈の區劃は一

つに地理の如何に依るこせられ此の意味に於て前三郡の競爭場は當然群山に有利なるものこ爲す者があるかも知れないが努力は遂に地を左右する現に同地方に重きを爲しつ、ある仁川の商勢を以て更に一段の努力を費せば遂に群山の商權を驅逐して益々活躍の地歩を擴大せしむる事は決して難事ではない今試みに現在に於ける商勢に就て大略を記してみよう先づ第一に仁川こ忠南この貿易年額は幾何に達して居るか

唯一の寄港地たる

仙掌この移出入統計に依るこ大正二年には十九萬二千圓大正三年には三十八萬三百圓而して大正四年には八十三萬六千圓年毎に此の恐ろしい膨脹を爲しつ、ある貿易額は更に近年に至りて莫大なる數字を示せるは勿論之を他の沿岸貿易に比較するこ實に飛び拔けた第一位にあるのである之即ち忠南百萬人口中凡そ其西北部に居住する同道半數の人口即ち

五十萬人の需要

品は悉く我仁川より供給し禮山及び牛峴平野に產する百萬石の產米は多く仁川に吸集せらる、に因るのである而して之等の移出入貨物を積む爲めに冬期には最近田中回漕店の扱ひに係る石油發動機船で姬丸薩摩丸安城丸の三隻が日も是れ足らずこ航行して尚ほ且つ船腹の不足を感ずるの盛況であるが夏季に至るこ之こ反對に

所謂夏枯れ時機

に際して先年迄は一隻の汽船も尚持て餘しの態に在りしものが今日では一日の缺航をも許さぬ位に貨物が輻輳する樣になつて居る之れ即ち取引關係が益々密接こなり來れるこ一つは地方農家の富裕より著るしく購買力を增加したに因るのは云ふ迄もない(仁川)

◎滿洲の機業

織物外の綿糸業

靴下製造

織物の外綿製品中なるは靴下の製造なり本品は大正三年二月頃より起りたるものにして現今營口市内に於て約三百臺の靴下製造機あり一日一臺の製造力は平均二打乃至三打に上り、原絲は三十二番二子四十二番二子及び六十番瓦斯絲を用ゆ、價格は三十二手を用ゐたるもの卸一打三圓小賣一足三十錢六十番を用ひたるもの一打四圓小賣一足四十錢位なりこ云ふ。全盛號工廠に於ては約四十臺の製造機を設備し、一日百二三十打を製造す、同工塲に於て使用せる機械は全部日本製(東京高尾製、同川長製、大阪西尾製)にして一臺六十五圓なり

◇レース糸 是亦三年前に本邦より職工を招聘し、業務を開始せるものなるが、現今に於てし公茂行の一箇所(外に日本人經營の興信洋行に於ては縫絲を製造)なるが、一日約二千打を作り上ぐこ云ふされど此等原料燃絲は總て本邦より輸入し、之を精練漂白の上マーセライズし或は染色の上一定の長さに卷きて箱包こなすに過ぎず。價格は一打入八十五錢にして用途は靴及び衣服の刺繡編物等に用ゆ。近來小學校に於て此等の刺繡を敎ふるに至り婦女子が家に於て刺繡を手弄びこなすもの少からず、需要割合に廣汎なりこ云ふ。色合は白、黑、赤、黃、青、綠等各種あれごも、白及び黑色最も需要多し

夏の海(仁川)

目切暑くなつた此頃夏の海は思ふだけでも涼味が湧く海水浴に貝を拾ひ鯊を釣り又は沖の鱸に海に親む者は日一日こ多きを加へる殊に休日なごご來たら浴衣がけで大きな海水前を戴き肩に竿持つ鯊釣り紳が有往左往の有樣を見受くるのは暑い中には一味の涼しさがある之等の人の爲めに左に仁川の潮時を借いて置かう(仁川)

	高潮		干潮	
二十七日	午 七、一八	後 七、三八	後 一、三〇	夜半 二、〇〇
二十八日	前 七、五九	後 八、二一	前 二、三〇	後 三、〇〇
二十九日	前 八、四三	後 九、一一	後 三、〇〇	前 三、〇〇
三十日	前 九、三九	後 一〇、一	後 三、二〇	前 四、二〇

◎服部大佐談

◇歸郷の上は庭いぢり◇ ◇一度は村長に成たい◇

今回待命仰せ付けられたる元平安南道警務部長服部大佐は明治二十七年陸軍士官學校砲兵科出身にして氏の朝鮮憲兵隊長警務部長こ成りしは明治四十三年日韓併合の際にして其の以前永興要塞司令官たり記者は警務部長宅に氏を訪へば洒然こして語つて曰く元來が氣の利かぬ性質だから何時待命になるか休職になる位の事は覺悟の前で郷里の伊勢國津に一町歩ばかりの屋敷を取つてある先づ歸れば屋敷いぢりに園藝道樂でもして暮す考へである郷里に歸れば又大に爲す仕事もある村長位には一度は出て見るつもりだ國には家族一同ぐふだけの準備は出來てゐるが多年奉公のお蔭で何等の不自由は無い僕は軍人界を離れて之れより社會の爲に大に活動するつもりだこ語れり尚同氏は來月早々歸鄉の豫定なりこ(平壤)

◎流す筏

鴨綠江と渾江材

內地と支那との需要殺だし

滿鮮は勿論支那各鐵道枕木は從來多くは北海道より移入し居りしも近來同材の移入杜絕せし爲め不便なるも止むなく伐採地の遠隔なる鴨江材若しくは北海材の供給を受くるに至りたるが其需要何れも多量にして就中支那交通部の如きは一箇年約六十萬挺を要する趣きにて既に本年は大注文を爲したる由なり元來枕木は落葉松樺及び雜木等を使用し居りしも落葉松は近年鴨綠川材に使用せらる、を以て其價格も相當に高價なれば枕木こして使用するには引合はざるより專ら材質堅緻なる雜木を多く用ゆる傾向あるが同材は鴨江本流よりも渾江流域に產出多く公司にては今流筏期には約三萬挺を流下すべしこ(新義州)

稻作

◆全北ご樂觀◆

コ、も蟲の害で困難す 結構な御濕りで先づ安心

全北平野の稻作は植付時期に降雨が不足であつた爲め一時悲觀されて居たが其後數回の降雨が來たので大喜びをして居るこ今度はチト雨量が多いので又々豪雨出水で泣かされはせぬかこ杞憂し出して居たのに幸ひに適當な時機に雨が歇んだので農家は萬歲を高唱した處が其後氣溫少しも昇らず八十度内外を往復して而も天氣は曇天又は少雨で時々蒸し暑いので是では分蘖が意の如く行かぬぞこ悲觀し出した折柄低地部には所在小蟹の發生夥しく未だ柔軟な稻株を無慙に挾み切つて仕舞ふので其被害は隨分多大なるもので往々植替を試みたるものもある若し此上天候が回復せずは今年の稻は案外悲しむべき狀況に終りはせぬかこ憂慮して居たる矢先き去二十二日の土用三郎から氣溫俄に昇騰し八十度を突破して九十二三度こ云ふ高溫度を示し天空は晴て軟風吹き夜分は冷わるこ云ふ誂へ向きの天候氣温に今迄の憂愁は一時に晴て此儘五六日間ウンこ照り込みさへしたら最早今年の作柄も大丈夫豐作じやこ歡喜の聲を放つて居る(裡里)

◇一般市民諸彥に翹望せられた兩社主催漢江觀火大會の催しも
◇昨今の霖雨期に强雨猶ほ未だ歇まず◆遺憾ながら廿七、八日の開催は斷然中止する事に致しました就ては觀覽區域を擴大し
(京)
漢江觀火大會延期
◆新龍山人道橋上より麻浦前面に至る迄延長◆捲土重來再擧を企て申居候◆決行期日は追つて發表致す可きが◆準備完成の當夜の觀火會は◆一段の快感を諸彥に與へん事を豫期致居候

◎京城の水不足

仁川に影響す 今に仁川も斷水

暑くなれば餘計に水を使用する之れ自然の數である處が今年からは仁川水道は此の自然の數に任せ兼ぬる仕儀になつて居るから市民たる者一考を費やして上水使用の上に何こか工夫をしなければならぬ既に再三報告した如く京城の給水不足を補はんが爲め仁川水道の水源池こ聯絡工事が施工されて今假施設の下に毎日十萬立方計りの水を龍山方面に配水して居る而も此の工事にして本工事が完成すれば水は成るだけ必要なだけ幾らでも京城に吸ひ込む設備が出來るので此の秋に當つて

◇◇仁川は如何に影響◇◇

して來るか豫め市民の覺悟が必要である今の處京城及び仁川に何程の水が送られて居るか最近五日間の統計を見るこ(單位は立方尺)

(日)	(京城)	(仁川)
十七日	一〇二、八一四	一一一、九九九
十八日	一〇七、〇八九	一四三、一一一
十九日	一〇八、五五九	八三、九九九
二十日	一一〇、一一二	九、六四四
廿一日	八六、一七一	一三五、五五四

之では今既に假りの聯絡設備にして尚ほ略仁川こ同じ數量の水を京城に送つて居るから本工事の完成後に於いては勢ひ尚ほ餘力のあるだけは吸ひ取らる、ものこ覺悟せねばならぬ而も

◇◇仁川水源の配水力◇◇

は云へば晝夜兼行で先づ二十八萬立方尺に過ぎぬ之を現在の配水量に見ても尚ほ二十萬乃至二十五萬立方尺に達して居るが此の外永登浦への配水は仁川の使用量の約三割に當つて居る之を以て推す時は辭熱の暑中に果して此二十八萬の給水能力ある水源池の水で足りるか否か

◇◇頗る心細い話こ◇◇

云はねばならぬ聞く處に依るこ現在ではまだ松林里の貯水池には三日や五日は送水が絕ねても大丈夫な程殆んご滿水して居るこの事だが此の後暑さの烈しくなるに連れ水の使用が多くなるに從つて仁川でも給水量を增す必要が生じ京城でも斷水々々こ連發された日には

◇◇お隣り同志の義利◇◇

こして同じ筒の水で吸ひ揚げた水を飮むで居る關係上知らぬ顏もされないから約束の十萬立方は十二萬十五萬こ超過するのは知れ切つて居る此の曉に仁川は京城の慈悲を喰つて御同樣に給水制限を受くるお交際をしなければならぬ事になる由來

◇◇仁川は水の濫用◇◇

激しい慣の處で曾ても報じた通り使用率は全國で實に第一位を占め一日一人當り平均大正四年の調査で七、八七立方尺が京都の七、六七東京は四、三一京城は四、六七こ云ふ比較になつて居るこを昨年八月の一日最大給水量に見るこ

◇◇驚く勿れ其の量が◇◇

十六萬七千四百立方永登浦一萬一千六百立方合計約十八萬立方こなり之に京城の約束を十萬立方尺こすれば先づ定められた能力だけはある計算こなるが京城がなかなか承知出來ないのみならず仁川も年々使用量が增加して今年は此の去年の率で算定する事は出來ないのである(仁川)

◇鱸と鰻=兼二浦

大同江下流兼二浦の沖合にて昨今鱸の大漁あり目下目の下二尺のもの一尾一圓位なりこいふ又兼二浦名物の一こも云ふべき鰻は過般百匁内外なりしが昨今土用に入りてより一躍百匁四十錢を唱ふるに至れるが、それでも平壤、中和、黃州等より註文夥しこ(兼二浦)

◎密漁事件判決

收賄巡査部長は懲役一年半

龍巖浦中村造船所主一味の密漁幇助及び巡査收賄被害事件は平壤地方法院新義州支廳にて左の通り判決ありたり(新義州)

懲役六ヶ月造船所主中村柳吉(但し三年間刑の執行猶豫)懲役六ヶ月主謀者原田滿作、同(缺席)千畢文、無罪原滿山 以上四名面して收賄者側の判決は左の如し

懲役一年六月 巡査部長 安原市平
懲役一年六月 巡査 大谷國太郎
懲役六箇月 巡查補 張允傑

◎管理者溺死

◇洛東江渡涉中誤つて◇

慶北善山郡龜尾學校組合管理者盛山義英氏(五四)は洛東江渡涉中溺死したるが同氏は永年同地に居住し功勞少からざるより其葬儀に際しては在住內鮮人の大部分參列して哀悼を表せりこ(大邱)

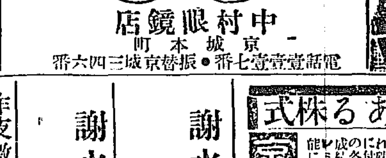
◎活辯の惡事

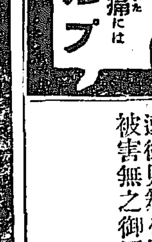
平壤壽町歌舞伎座附活辯愛媛縣北宇和郡宇和島町生れ桂田春景ここ西村氏太郎(三二)は性來女たらしの名人なるが壽館に出勤中三笠樓の抱ね娼妓伊達七を喰物にせんこ企らみ屢々登樓し終に甘言を以て同人を釣り込み同人の親なる小池うめに金十圓を送り本人も永らくこんな處に置くは可愛相なれば自分が都合よく取計らうべければ戶籍謄本こ白紙に捺印して送れこ云ひ遣りたる處うめは信用して早速其手續を爲し春景の手許に送付したるが此事早くも樓主が聞き知り苦情を云ひ立てたるより春景も同地に居堪らず終に京城の有樂館に轉勤したるが一方伊達七も其後樓主この折合惡く是れ亦安東縣に鞍替を爲したるが是を聞きたる春景は例の戶籍謄本に捺印しある白紙を利用して何時かものにせんものこ思ひゐたるが其後前記の通り平壤壽町の歌舞伎座に雇はれたる處本月廿二日窃盜犯こして平壤署に檢擧せられ爲に目的を遂ぐる事能はず目下取調を受け居れりこ云ふ。其の犯跡を聞くに同人は先月末日頃平壤賑町貸座敷長崎樓方抱ね娼妓長吉を揚げ遊興の上翌朝歸宅に際し同人が近藤質店方に入質し置きし金指環質札を竊取し又本月十七日勇樓に登樓し龍子を揚げし翌朝歸宅に際し同人の紙入に在りしはがき六枚外一點を竊取し其他尚二三の犯罪あり尚他に餘罪ある見込にて嚴重に取調中(平壤)

懸賞發見通告者には五十錢書籍券を呈す但何書何號と明記に限る◆宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

◎◎朝鮮名物◎◎
金剛山
京城本町電話二十七 四七五番 龜屋

新田式耐水調革
朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
新田帯革
新田式バランタ調帯
(定價表御申越次第送呈)

定價表進呈

中村眼鏡店
京城本町
電話壹壹七番・振替京城三四六番



AQOEOUS SANTAI-PAINT
水性 三泰ペイント

水性三泰ペイントの特色及効用
一、三泰ペイントは塗布後乾燥非常に早く(三十分位にて手に附着することなし)耐水の特質を備へ而も時日を經過するに從ひ益々其特質を發揮す故に普通室內は勿論浴室其他屋外露出面の塗布に耐ふ(但し斯る場合には空氣の流通を能くし少くとも五日間乾燥せしむるを要す)加之耐火性にも富む之れ他に比類なき所こす
一、三泰ペイントは土壁、セメント壁、煉瓦、石材、木材、金屬等如何なるものにも使用することを得其塗布能率は一罐(五十封度入)少なくも四十五坪にして塗方宜しきを得れば四十五坪以上延ぶ之れ他に比類なき所こす
一、三泰ペイントは如何なる微滲をも悉く隱蔽し高尙優美なる色彩を呈し毫も剝脫の虞れなく時日を經過するに從ひ益々其凝結力を增し堅牢こなる之れ他に比類なき所こす
一、三泰ペイントは時日の經過及寒熱によりて決して變色又は變色せざるのみならず却て貯藏久しきに亘れば其品質を優良にし凝結力及塗布能率を增す之れ他に比類なき所こす

三泰ペイント使用法及使用上の注意
一、三泰ペイントは其儘之を使用すべし一切の他物を混入す可らず若し混入する時は化學的變化を起し特質を失ふが故に混入の爲に生じたる品質の變化に付ては一切其責に任せず
一、三泰ペイントは使用の際先づ泡立たぬ樣徐々に攪拌すべし若し泡立つ場合には之を取除くべし
一、三泰ペイントは如何なる下地又は何種の塗料を塗りある下地にも敢て妨けなく其儘塗布すれば足り決して剝落の恐れなきのみならず能く固着して益々下地を堅固ならしむ
一、三泰ペイントは三回塗り以て如何なる徵滲をも隱蔽す
一、三泰ペイントは嚴寒中には氷結する虞れあるを以て溫暖の場所に貯藏すべし尤も一旦氷結せるものは徐々に加熱し攪拌すれば舊に還り何等變化なし又使用殘りの品は可成密封し置くを可こす
一、三泰ペイントの使用法は塗布に際し刷毛に少しく附けて廣く動かし使用すべし之延び方宜しきを以て也
一、三泰ペイントは右の外は普通ペイントこ同樣也色合は如何なる色にても御注文に應ず

製造元大連 株式會社三泰油房
內外國一手販賣 三井物產株式會社

朝鮮全國一手販賣 三泰ペイント ソーライト タンタルス
京城旭町一丁目 小森商店
電話七四四番 振替京城一三七二番

謝水害御見舞
南濱町 中俊支店

昨夜激浪襲來の際は暗夜深更にも不拘早速御見舞を辱ふし御高庇に依り幸に何の被害無之御厚情奉深謝候
西條鐵工所
所主 西條利八

謝水害御見舞
釜山南濱町二丁目
高瀨合名會社々宅
電話四四三番

趣味のある株式
公信株式現物問屋信託
上海取引所株式 來る拾月一日より愈々營業開始す同所株式の證據金は有價證券綿系生系雜穀類の定期及現物賣買が其目的こする所なれば之が附屬にも支那は銀行國なるが故に金貨の取引せらるべく開業後は其他の諸銀行に付き金建さ銀建さの相違あり是等の點に於て內地の株式の各取引所とは其趣を異にし又一般の將來に就ても實現不可能にあらずさ想も五萬株以上の配當四十五圓乃至六十圓
京城黃金町一丁目
丸五商會有田長
電話壹四九八番

◎謹告
酷暑之候諸賢益御清祥の段奉賀候陳は小生事開業以來格別の御厚情を蒙り居り候處今般學術研究の爲一時閉院東上可仕候尚歸京開院の上は一層御愛顧願上度乍略儀以紙上御挨拶申上度如斯御座候
大正七年七月二十八日
京城南山町三丁目
日本歯科醫學士 橋本清次郎
各位

朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎閣下題詞
貴族院議員 德富猪一郎閣下序文
元京城學校組合會議員 朝鮮總督府 吉田英三郎 著
朝鮮書畫家列傳
定價 九十錢
發行所 京城太平通一丁目(振替京城三〇〇番) 京城日報社代理部

塚原卜傳

第百五十席 悟道軒圓玉口演

お話は一轉して永祿八年八月廿六日、奥州松島五大堂にて塚原小太郎勝義のために討たれたる佐竹彈正左衛門義胤の嫡男、長一郎宣胤其時十六歳でありましたが、其後岩沼の伊達兵庫の許を賴んで居りましたる處、兵庫の謀反露顯に及び遂に片倉小十郎のため生捕られ長一郎身を以て逃れ奥州へ走つて身を忍ばせ其後出羽の象潟に知己あるを賴り之へ身を落付けましたが國許の様子を聞けば已に自分達の惡事發覺して自分の城は取上げられ、小太郎勝義は歸參して當時は繁昌との事、殘念に存じましたが取付く島もなく一族離散したる上は何こ復讐する術もない、しかし思へば無念なるは父の最期、ごうか元々の自分になれぬまでも小太郎に一太刀恨らんで死にたいこ十六歳の少年でありますから深く思ひ込みました、之は無理ならぬ事固より長一郎の身に取つて見れば小太郎は父の仇、善惡邪正を論ずる所でないから是非一刀恨まねばならぬと少年心に思ひ詰めたは之れも亦孝子でございませう、さて考へて見れば小太郎は日本隨一の劍法達人、中々小腕にて之れを討取る事思ひも寄らず、何か然るべき劍法の名人に從つて腕を練り藝を磨いて本懐を遂げたいこ考へ之れから象潟を立つてまづ越後路から上州へこ乘込んで參りました路々武藝者の門を叩いて試合をして見る、長一郎も彈正の子息こして相當に劍道を學んで居りますから中々出來るがさて他流に渡つて研究するこいふものは難しいもので、稽古しながら上州路へ入つて參りましたが、途中心を付けて當時劍術の名人は何人であうこ話の序に聞いて見るこ言合さねご塚原こ答へる、其外はこいへば最上の磯端伴藏、或は八王子の神後伊豆こ答へる、まだ外にあるかこ聞けば箕輪の丸目藏人、厩橋の疋田などゝいつて悉く上泉の門人ばかり、上州の樋口十郎左衛門川越の青木文左衛門なごも噂に出るが何こいつても當時上泉の一門名與赫々こして之れを凌ぐ者はあるまいこの評判、長一郎困つた、上泉上泉の門下になる譯には往かず、其の外に目立つた劍術使がないこいふのは殘念、ごうしたものかこ思案に暮ました、スルト上州坂本に於て一人の劍客こ道伴れになつた、長一郎を見て 劍『御邊は何國へ志してお出になる』こ優しく問掛たから長一郎 長『上州は武の國こ承はつたから修業のため罷り越しましたが上泉一門のみにして外に是こいふ師に賴むべき者もござらんから上方の方へ差して參ります考へ…… 劍『ハヽア上泉へは如何して往つしやらんのか…… 長『仔細あつて參り兼ます 劍『上泉を嫌つては當國に劍客はない、箕庭の樋口だが之も近頃十郎左衛門相果て悴十藏若年だ、殊に先年赤城の試合に塚原に敗北してから滅切り評判を惡くしたな、併しまづ上泉に次いでは此人だらう 長『實は小太郎の上に出づる劍法者に就いて修業したい考へでございます 劍『アハヽ大した望みを持つて居るな、當時日本隨一の達人塚原小太郎の上に出づる者は當國にはあるまい、イヤ日本國中尋ねてもある氣遣ひはない無益だから止しなさい 長『左樣でござるか…… 劍『大府力を落されるが見ればまだ御若年の尊公、何か望みある人こ承知いたす、だがしかし塚原以上の劍法者を尋ねた所で無益の話だけれごも塚原に負けず劣らぬこいふ者ならないでもない 長『エッござりますか 劍『アヽある少し遠方だ 長『何方でございます 劍『生國は雲州だが當時は因州鳥取に居る、鐘非流の槍術を編出した鐘非新十郎玆矩、此人は先年赤城の大試合に塚原こ相打をした位、槍術は當事日本一、劍術も樋口以上の達人だ、まづ此人の外に師こ賴むものはあるまい』

京 永樂町二丁目 たまや出張店 電話一二九六 呉服

安東縣より

◇本紙は曩に安東ホテル問題に就き競願者現はれたる爲めに前出願者たる太陽樓主船津氏の計畫一頓挫を來したりこ報じたがそれは精探の結果事實無根の事で船津氏の計畫は着々進捗しつゝある事を確め得たので茲に前報道を訂正する事にする

◇由來安東には安東是こ認むる何物をも持たない、故に一事一物殆んご歸一する處がなく協同一致の力を缺いてる樣態である、茲に於てか『安東は暗闘也』の語の起る所以である、此意味に因つてホテル經營に對しても或る確なる筋より聞知するこ共にヒヨットこ云ふ感念が起るのも強ち無理からぬ事であらうこ思ふ

◇此ヒヨット若しくは萬一を思はしめ顧慮せしむる事は戰士の意氣勇猛心を鈍らしめ挫くに極めて偉大なる力を持つてるのである、此不安の念に付き纏はられてる安東は決して健全にして堅實而も勇氣ある正直なる發展は希望する事が出來ない、宜しく將來の大發展を期する爲め一進還を捉へんこするの誠意あらば此際市民は心機を一轉して暗闘の見苦しい而も窮屈な城を脱し市民が是こし天下が善こする大なる安東是を確立し以て此大目的遂行の爲に協同一致勇往邁進すべきである、一黨一派の是非善惡に捉はれ黨同閥異を呼ぶは大をなす所以のものではない覺醒を要す

七月三十日 九星 舊六月廿三日 戊寅 本命七赤 西 危 佛滅

▲七赤 無盡悲論の事有日の事に合神佛の事は吉嫁娶酉▲八白 大發叶日轉居入學は漁名弘求職探の金件婚禮等凶吉物に望の日▲九紫 蝕込に義の事有日新事の手控事は買物に中心せらるべし▲一白 優美の日轉居開業金件名弘求職造船嫁娶金件女子の吉▲二黑 利潤の日轉居行方入學弘求職前金件婚禮紙物業等吉▲三碧 厄有日の事有日新事手控 新事は吉貸借の事を禁す▲四綠 良し短しの事有日新手控事は慎むべし▲五黃 大開け有日轉居入學並行名弘求職金件婚禮先な見越たる事等吉▲六白 吝去て來るの上首迎て大利有待人良報ある[illegible]

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京元線（北行） 同（南行） [illegible]

歐米の藥學者まで驚異しつゝある中將湯の靈妙偉効

血の道・子宮病

中將湯

實驗室から満天下の御婦人方に 靈藥 中將湯の藥効作用を申上ます

主成分に就て

中將湯の藥効作用は、普通の物理や化學では充分の理解は出來ませんので、進歩せる晩近の藥物化學を應用して研究調査を續けて居るのでムいますが、漸々研究の進むに連れて中將湯の成分中には驚異すべき靈妙不可思議なる物質の含有されて居ることが判明して參ります。この特有物質を抽り出すといふことは困難なのでムいまして、言葉を換へて申上ますと、中將湯は振出である から完全なる効驗が顯れるので、所謂主成分だけを聚集するといふことは出來ないのでムいます、で すから、靈妙不可思議な物質とでも申上ぐるより他はないのでムいます、近頃は醫學者藥學者が一大覺醒を致しまして、和漢藥の眞價をいよいよ認めて參りましたのは喜ぶべき傾向でございます。政府でも近時藥草栽培を非常に奬勵して居るのでございます

主治効能

●子宮病 ●産前産後 ●血の道 ●血ぶとり ●逆上頭痛 ●氣ふさぎ
●下腹痛 ●月經滯り ●夜眠れず ●膣加答兒 ●難産流産 ●腰足冷込
●痼高ぶり ●内膜炎 ●つはり ●婦人神經 ●こしけ ●月經不順

▶價定◀

二日分	二十五錢
四日分	五十錢
一週分	八十錢
二週分	一圓五十錢
三週分	二圓二十錢
五週分	三圓二十錢

●加減藥あり容態詳く御申込あれ
一週分 壹圓
三週分 二圓七十錢

東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六二・六三 振替東京六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二五五 振替口座大阪五四六番

朝鮮人蔘製藥株式會社謹製

人蔘界の最高權威

本社の人蔘製藥と人蔘製菓

京城本町二丁目 電話一九八・一四九六番 振替京城四八四一番
朝鮮人蔘製藥株式會社販賣部

藥劑師 安井文造
顧 技師長藥劑師 佐伯純治
長崎藥學士 三村親成
問 醫學士 田坂仁憲
醫學士 鶴田善重

高等贈答品各種市内は御一報次第速達地方は小包を以て御送付申上候

資本金壹百萬圓
京城 株式會社 漢湖農工銀行
支配人 遠山熙
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

新式 魔法瓶
△圓筒形 二合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金三圓
△水筒形 三合入金貳圓三十錢 四合入金二圓六十錢 送料 鮮内二十四錢 外四十五錢
京城太平通 京城日報代理部 電話六〇〇・九〇〇番 振替京城三〇〇番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四八一・一四九・四五四番 振替京城五七番

内科 胃腸病 診察午後九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七・二九二〇九番

塗料船具油紙金物
土工用器具及材料 雨覆天幕製作販賣
近江帆布會社製品 朝鮮一手特約店
同 免許 船燈 製作販賣所
旗印石油 合組 販賣所
仁川本町一丁目 村谷本店 電話長五六番 振替京城五九番
支店 仁川府支那町 村谷石炭部 電話八一九 振替京城五九番
平安北道義州城内 義州印刷所 電話長二一 振替京城九八番

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬 辯護士法學士 加古貞太郎先生序文
前韓國財政顧問附屬官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓 送税十八錢
本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの
一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西歷の詳細なる對照年號を示し管區數人口戸數道路里數各道の廣袤交通其他の概況を掲げ
本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者交通產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らざる必携書也
發賣元 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城日報

本紙定價　壹部參錢▲壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月前金貳圓拾五錢▲六ヶ月前金四圓貳拾錢▲壹ヶ年同八圓拾錢▲郵税代用二割増
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五號同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢▲六號十七字詰同一圓
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用長六千九番　營業用長六千九番　振替京城三〇〇番

……を謝絶せられたることゝて……この今後の交渉に當り復も綻れを生ずる虞あり即ち保險會社は其提……避するの外なきものゝ如し又荷主側は爾後損害ありたる場合一割の再保險の一方法あるのみ……に保險團引受額の外に假令荷主が其一割を負擔するも其餘を保險或……

戰亂と都鄙金融關係變動(二)　地方金融の將來

▲地方放資か中央放資か　此の如き趨勢が將來の地方金融を如何なる方向に進捗せしむるのであらうか。近時に於ける遊金の充溢を救濟する道として先づ考へ得るは、地方の商工業を發達せしめて地方放資を可能ならしむることである。然しながら今日までの經過に依て觀るに、地方の商工業即ち地方人により經營せらるゝ商工業の發達は容易に望むべからざることのやうである。都市の人士によりて經營せらるゝ地方の商工業が漸次發達し得べきは容易に之を認むることを得るが、然し此の如きは地方的商工業ではない寧ろ都市即ち中央的の商工業である。從て之に要する資金が地方市場からではなく中央市場から調達せらるゝは誠に自然なことである。斯く地方的商工業の發達が容易に望むべからざるのみか、地方に發達し得る機會の多い商工業も中央的のものであるとすれば、近時の如き急激なる資金の集積ある場合は勿論然らざる場合であつても資金の集積が相當にある場合には、常に其の運用に苦しまなければならぬと思ふ。尤も言ふまでもなく地方の預金は直接若くは間接に農林業の利潤であるから、其の農林業の發達の爲めに使用せらるゝを至當とするわけであるが、農産物の價格殊に米の高低が近年の如く甚だしきものあつては、農業が頗る不安定の狀態にある許りでなく、農業の利益步合(利廻り)が他の産業に比して頗る低いのであるから、往々にして之に對する放資が多くの危險性を有することになるのである。普通銀行にして放資を堅實ならしめんとせば、此の種の放資に就ては特に警戒を要することゝなるのである。されば地方の遊資は運用を都市即ち中央金融市場に求むるの外なきわけである。中央市場は廣くして且大なる放資の範域を有するからして、地方資金の運用について容易に道を開き得る地位にある。

▲中央市場と地方市場の調和　前述の如く都鄙を通じての好景氣が都鄙金融の調和を計り得る絶好の機會を與へたのである。各地方が互に分立して中央市場との疏通を缺いては、互に金融の繁閑を充分に調節することが出來ない。是が爲め一地方が遊資に苦しむのに他地方が資金の缺乏に困却することがあり得るので、各地方の金融の蒙る損失が決して少くない許りでなく、資金が有効に利用せられないのであるから、國民經濟上から見ても大なる不利益である。吾人の見る所に依れば今日迄の趨勢の示すが如く各地方の産業が大體に於て地方的に發達するよりも中央的に發達する可能性を有して居て又其が得策であらうと思ふ。換言すれば、各地方の産業が中央に根據を置き、其の資本と經營とにより發達せしむるを可とする。斯くすることは、中央市場が經濟界の狀況につき最も敏活なるもので、其資本が最も有利なる所に向はんとしつゝあるから、漸次各地方の最も有利なる産業が發達し、國の資本が最も有効に利用せらるゝこゝなるので、國の産業が經濟狀態に最も良く順應して發達し、最も良き組織の下に置かるゝであらうと思ふ。此の如く地方の産業が中央の經營の下に發達すべきものと發達するを可とするならば、産業の資金を供給する金融市場も之に適應し得るやう改善せられねばならぬわけである。即ち各地方金融市場が從來の分立的狀態を脱して中央に統合せられ、資金が中央市場の手を經て各地方に集散せらるゝやうにならねばならぬ。然るに是が前述の如く都鄙相互及び各地方相互の大なる利益であらうと思ふ。終りに各地方の資金を集散する中央市場は何處にありやにつきて一言したいと思ふ。此問題を精密に考察したならば此の種の市場としての作用を爲して居るものは多々あるであらうが、吾人は今精密なる一般的考察を爲すことは暫らく措き、茲には普通に知られて居るものを指摘するに止めやうと思ふ。各地方に多數の支店若くは特殊關係のある銀行を有する都市の大銀行も或程度迄資金集散の役目を爲して居るが廣く各地方に亘り各銀行と取引し銀行間の銀行とも云ふべき役目を爲して居る銀行が最も良き中央市場としての機關であらうと思ふ(大阪支局完)

歐洲より歸りて(六)
於實業家修養講話會　河野醫官講演

ビスケー灣は人の知る如く敵の封鎖區域である此の航路で米國紐育へ向ふのであるが、曾て汽船が一艘潜航艇の爲めに撃沈されたことがあるのみで、比較的安全の航路であるといふ話を聞いたけれども、全然安全な航路とは言へぬ。そこで矢張り軍艦が一日間護衛したのであるが我々の乘つた汽船では、出帆前に演習があるから甲板に集合せよと言うて來た。どんな事を爲るのかと行つて見ると、浮袋の使用法を習ふのである續いて發火演習を始めた、何れも餘り愉快な事ではない。其翌日出帆したが、一萬四千噸の大船ではあるが、動搖頗る激しい。之に依つても大西洋はどんなに荒れるかが判るのである。毎々航海を續けて居ると、今迄甲板に据付けてあつた大砲の方向が變つて居る。之で危險區域を脱した事が判つた、船中の者は夫迄は内心頗る悄々たる者があつたがもう大丈夫となると急に元氣付いて來ること云ふ樣な譯でやれやれと安心したのである。

扨て西洋から日本に來るには目下三航路ある。第一は佛蘭西から亞米利加に直航し、亞米利加を汽車で横斷して太平洋を渡つて日本に來るもの、第二は英吉利から出發して阿弗利加を迂回し印度洋を横切つて日本に到るもの、之には六十何日を要する。第三は英吉利から亞米利加に直航し、亞米利加を横斷し日本に渡るもの是れである此三航路中、第一の佛蘭西からするものは日本人には除り知れ渡つて居らぬらしい。此の外に西班牙から亞米利加に行く航路もある。日本の内務省の山田氏が亞米利加に渡る際西班牙から西班牙船に乘つた所が酷い目に逢ひ敵潜航艇に出逢つて、再び西班牙へ返された話を耳にした。此節では、西班牙から米國に渡る事は不可能となつた。目下一般の船は獨逸潜航艇の襲撃を防ぐ爲めに舷側を塗變へて夜間は消燈して居るが、獨り西班牙船は殊更に皎々と明かるくして航海する。之は中立國たる西班牙の船といふ事を明示する爲めである、所が右の西班牙船は出帆翌日端なくも獨逸潜航艇に發見され、二發まで砲彈を喰つた。西班牙船は大に狼狽してゐる間に潜航艇が近づいて來て、之れは中立國の船ではあるが、戰時禁制品を積載して居るから紐育に行く事は相成らぬ、此の儘引返すならば撃沈はしない。且つ無線電信は決して使用してはならぬといふ。西班牙船は夫れは有難き思召と早速引返す事にした、其の折潜航艇の艇長は、一々敵國人を尋問した相であるが當時日本は西伯利亞に出兵したといふ話だが、ソレハ眞實か杯尋ねたそうである、そしてもし獨逸に行きたければ此の潜航艇に乘せて連れて行つてもよい杯言ひ最後に横濱に宜敷く言つて呉れと言ふた相である。横濱に宜敷くは振つて居るが、多分横濱に來た事のある者か、兎に角横濱といふ事を知つて居る者であつたのであらう。其の顏色は飽迄眞黑で獰猛な相貌であつた所から察しても潜航艇の勤務が如何に激しいかが想像されると途中から引返して來た山田氏がボルドーで私と一緒になつた時言ふて居られた。昨年十二月頃迄は西班牙航路は一番安全であつたが本年に入つて潜航艇がちよいちよい現はれるのと、縱令紐育に着いても、石炭が却々積めぬ。容易に歸航が出來ぬのとで、此航路は中絶の姿である。私は實は西班牙から出發する考へで、汽船の申込金迄渡して、座席を取つて置いたが、右の次第を聞いて、途中で止めにしてボルドー港から、出發して紐育に着いたのであつた。

書道の話(六)
今關天彭氏談

戊　書人傳と短評

書道に於ける最初の名高い人はと云ふと、先づ秦の李斯を擧げざるを得ませぬが、こゝでは後漢の末期に當る蔡邕からお話し致さうと思ふ。

蔡邕

蔡邕書、骨氣洞達、爽爽如ㇾ有神力、

蔡邕は後漢の靈帝が書を好んだので、書家が擢出しましたが、この人に及ぶものは一人もなかつた。その當時立てた石經は、無論この人の筆があるのであります。またこの人の筆として今日にまで傳はつて居るのは、郙林宗碑や西狹頌などであります。

張芝

張芝書、如漢武愛ㇾ道、憑虚欲ㇾ仙、

この人は蔡邕と同時代の人で、草書の名人であるところから、草聖と呼ばれました。池に臨んで書を學び、池の水が盡く黑くなつたと云ふ逸話が傳はつて居ます。これ等の人々からダンダンと三國時代となつて來ますと、秦漢以來の第一人と云はれる鍾繇が出てまゐります。

鍾繇

鍾繇書、如雲鵠遊天、群鴻戲海、行間茂密、實亦難過。

今體の楷書は、この人あたりから始められたので、筆蹟は宣示表、薦季直表、賀捷表などが傳はつてありますが、宣示表を以て一番宜しいとしてあります。また吳には皇象と云ふ人が名高い。天發神讖碑は、その筆蹟だと云ふことであります。秦以來の書體の變遷をかい摘んで申すと、篆象から字形が整ひ、それからダンダン圓いのが角となり、繁雜なのが簡略となり、後漢には一變して波磔即ちハネのあるのが流行し、そして篆書と隸書が全く分離して、漢隸が出來上りました。然るに漢末となると、再び篆書の好いところを取るやうになり、一變して楷書となつたのであります。これと前後して行、草の書體も完成に近づきました。

衛夫人

衛夫人書、如揷花舞女、低昂美容、又如美女登ㇾ臺、仙娥弄ㇾ影、紅蓮映ㇾ水、碧沼浮ㇾ霞、

書は晉代特色の一つであつて、如何にも巧みなものであります。これは當時の思潮が文采風流を好んだからであることは疑ひもない事で、さう云ふ時代でありますから、この衛夫人のやうな女の身でありながら、書界有名な人が出てまゐりました。この人は王羲之の師匠で、美女簪花格と云ふ美しい書風の開祖であります。

王羲之

王羲之書、字勢雄逸、如龍跳天門、虎臥鳳闕、故歷代寶之、永以爲ㇾ訓、

王羲之は書道の大成者であつて、凡そ書道を云々するものは、一人として羲之を宗とせざるなしと云ふ程の人であります。支那歷代の帝王中に於て最も英明であつた唐の太宗は、羲之に對して斯う云ふ批評を下しました。

所以詳察古今、研精篆素、盡善盡美、其惟王逸少乎、觀其點曳之工、裁成之妙、煙霏露結、狀若斷而還連、鳳翥龍蟠、勢如斜而反正、翫之不覺爲倦、覽之莫識其端、心慕手追、此人而已、其餘區區之類、何足論哉、

實に言葉を盡して賞めて居ります。羲之の筆蹟として傳へられて居りますのは、樂毅論、黃庭經、蘭亭叙などは、古今、書を學ぶ人の模範となつて居ります。この中樂毅論と黃庭經とは小楷で、蘭亭叙は行書でありますが、外に草書で有名な十七帖があります。

王獻之

王獻之書、如河洛間少年、雖皆充悅、而擧體沓拖、殊不可耐、

この人は羲之の子で、父と並稱して二王と申して居ります。その筆蹟としては小楷の洛神賦が名高い。この父子は書道の冠冕たるのみならず、眞、行、草三體を大成した功勞者であることを忘れることは出來ませぬ。この父子の後に名高い書家は梁の蕭子雲であります。

並行線(四十一)
瀧閑村

『兄さんは、まだ歸りませんか。』
娘は子の晝寢に添ひ寢し乍ら
『おや入らつしやい、ね、夕方で涼ければ……』と云ひ乍ら宮太郎の顏を見上げて
『まア、どうかなさいましたか、大變顏色が惡いぢやありませんか。』と吃驚して起上る。
『何でも無いんです……おやアなたですから、兄さんに家にゐるやうにさう云つて置いて下さい。』と云ひ棄て、宮太郎はズンズン歸つてしまつた。
夕方光一は歸つて其話を聞いて
『はてナ、どうしたのかナ』と云ひ云ひ井戸端へ行つてザアザア水を浴びて、騷がしい夕餉を終ると、お村は子供をつれて錢湯へ入つた、それと入違ひに宮太郎が來た。
『嫂さんは?』
座敷に長々と仰向けになつてゐた光一は起上つた、
『今錢湯へ行つた、暑くなつたなア、是から當分は夕方風が凪ぐので閉口だ、お前は珍らしく好い色をしてゐるね』
宮太郎は酒の力を借りて來たのだが、斯う云はれると少し極り惡さうに正視を避けて坐つた。
『あの江藤の娘の話ですね、隨分延し延しになつたが、あの話は續いてゐるんですか、兄さんから斷つて下すつたのですか。』
『イヤまだ斷りはせぬ、斷らうとは思つてゐるが、いろいろ都合もあつて其の儘になつてゐる。』
『さうですか、私も熟考した上、貰はうと思ふんですが……』
光一は意外らしく眼を見張つた
『ホウ、貰ふ?』
『さうです、ですが、そら此の間其の條件として相當の資金は出すと云ひましたね、あれは間違ひ無いでせうね。』
『それは間違ひ無いさ、あの娘なら其位をするのは當然だ。』
『では貰ふ事にしませうから、一つさう返事をして下さい。』
兄は稍不審さうな顏をして、
『お前はあの娘の事を少しは調べて見たかね。』
『イヤ何にも調べません。』
『それは調べて見る方がいゝ、ぢや無いか、俺には先達て話したやうな厄介な事も絡つてゐるが、一應は調べて置かないと後で困りやしないか。』
宮太郎は平然として
『いゝですよ、調べたつて今更過去の事をどうするものですか、知らずに濟めば寧ろ其方がお互にいゝと思ひますから、さうして下さい。』
光一は頷いて、

◎會寧貿易狀況

會寧……に於る自四月至六月中貿易狀況を……て塩魚及び干魚石油生牛の出……るしく增加せしに因るもの……百八十六圓六十五錢の增加を示……

看護婦募集廣告
志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし
大連　滿鐵大連醫院
奉天　南滿醫學堂附屬醫院

朝鮮法制研究會
縮刷 朝鮮法規提要
▲ポケット形一千餘頁▲總クロース函入美本▲定價二圓二十錢送料▲特價一圓八十錢一八錢
(内容)
憲法、法例―憲法―法例―公式令
官規―官制―官吏―任用試驗―服務分限―給與―懲戒
賞恤、恩給―褒賞―救恤―恩給―退官賜金
文書附印籍
地方行政―公共團體―府―面―學校組合―水利組合―地方
社寺、宗教―祭祀―神社―寺院―布教―寺刹
兵事―徵兵―六週間現役―服役―陸兵入營旅費
教育―朝鮮教育令
衛生、警察―衛生―警察―保安―遺失物―飲食物―銃砲火藥
財務―國稅徵收―租稅―犯則處分―會計―保管
土地、林野、河川―土地―國有未墾地―林野―河川―水面
法務―裁判所―辯護士―訴訟代理業者―公證人―民事令
産業―會社―銀行―漁業―米豆檢査―商業
交通、電氣―郵便―鐵道―道路―開港―航行―電氣
賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番振替京城三〇〇番

植物油
胡麻油　荏子油　大豆油　蓖麻子油　同白絞　種油　菜種油　椿油　同白絞　ボイル油　並に油粕
謹啓各位益々御清穆の段奉賀上候扨て弊所左の製品は御小賣共特別勉强仕候間多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
京城南米倉町　京城製油所　電話長一六三〇番　一九一七番　五九五番

婦人之友 八月號 生活愉快號
生活の自由と愉快……羽仁もと子／三宅博士
廢物利用か存物利用か
夏を樂しく暮した經驗
家族づれで山登りの經驗
氣持のよい湯殿と寢室の研究
主婦必讀
長編小說 野茨　長編小說 幻影
定價廿三錢 郵稅一錢 半年前金一圓八十錢 東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京六〇〇

早稻田工手學校
第二學期生徒募集 入學期日七月廿日〜八月廿一日 授業開始
機械、電工、建築、土木、採鑛冶金
早稻田大學附屬
東京、込牛

木炭購買入札　詳細八七月二十七日朝鮮官報ニアリ　第十九師團經理部

農家　秋蒔種子　諸君高價也とも正確の種子を望まるべし而も弊園の種子は正確にて廉價
京城府　一、募集町道路局部改修工事來八月二日入札ス希望者ハ當所門前ノ掲示ヲ見ヨ

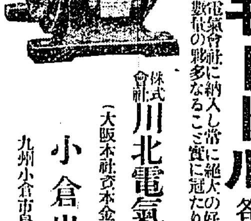
最新刊

書名	著者名	定價
ゲーリー式の學校	田中廣吉著	特價七拾五錢
非病及鑑定法	木谷	三、三〇
植物學案内	初田 初野共	七、五〇
兒童鑑識講習錄	久保良英	一、五〇
戰時利得稅法要義	西陽晋	一、二〇
書翰文講話及文範	久保武彦	一、二〇
物理學汎論 上下	四郎太	四、八〇
現代の電氣化學工業	柳原英一	一、八〇
獨逸を中心に	赤木格堂著	定價武圓參拾錢
兒玉大將傳	杉山茂丸	一、〇〇
日本武士	田中義成	一、二〇
修養訓話澤先生手紙	澤柳政太郎	一、二〇
熊澤蕃山	山田瑞	一、二〇
日印貿易の犠牲者	青年社會	一、五〇
顏易寫眞のうつし方	大塚信治	六〇
お伽花壇	久留島武彦 小林柳共	七五
出獄人	古賀然	六〇
日進珍話	羽與思道	七〇

京日案内
普通一回前金一册(一行)七拾錢外二　▲申込中途御中止の節は料金不返戻▲六回以上の御申込は特に割引の事▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
京城本町 大阪屋號 電話六〇四番二〇八六番 振替京城二五七三番
市内明治町一ノ五〇 小笠原 ▲子供入用 十五歲より十七歲迄
のもの二名 南大門通二丁目 吉野商會
代診及藥局生至急募集す希望者本人來院の事 仁川 佐藤病院
看護婦及見習
簿記係壹名 希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ 京城蓬萊町一ノ九〇番 平田運送店
有給外交員募集 數名採用す希望の者は午後十一時迄に來社あれ委細面談 黃金町十八銀行内 日本生命保險出張所
◎採用 簿記係一名 店員一名 但不問年齡 南大門通り五丁目 穀物問屋 齋藤商店
店員募集 但、呉服商に經驗ある十二三歳より廿歲迄の者數名採用す身元引受證持參來談あれ 京城本町一丁目 ますや呉服店
ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場
社員數名至急採用 入鮮地方は履歷書送附市内携帶來談 (面談午前中) 龍山京町二〇ノ二 賣劵部 盛山
外勤員募集 給有 希望者は至急御來談ありたし 京城光化門通 電一四四七番 大日本債劵會社

朝鮮商業銀行
資本金 壹百萬圓　諸積立金 參十一萬五百圓
京城南大門通一丁目　電話五五八、三六八一、一六〇七　振替京城一六三四
一般銀行業　倉庫業
銀行長 趙鎭泰　支配人 豊田明敬
南大門支店 振替一六〇六番 平澤支店
本町支店 群山支店
仁川支店 東大門出張所

川北製モートル 各馬力在庫



各電氣會社に納入し常に絕大の好成績と數量の夥多なること實に冠たり
株式會社 川北電氣企業社 (大阪本社資本金參百萬圓)
小倉出張所 九州小倉市鳥町電話六八

魚釣具 投網 卸小賣
烏捕用カスミ網各種あり御申越次第定價表進呈
京城永樂町武丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三三八番

朝鮮で始めて出來たお伽本
(八月上旬發行)
教訓お伽噺　八島柳堂著　古賀祐雄畫
菊判 美本 二百五十頁 定價三十五錢 郵稅二錢
少年少女の讀物出來
▲少年少女の智能が餘程進んで居る今日では爺婆的のお伽噺では滿足が出來なくなつて新しい智識を得るお伽噺を渴望して居る事は事實です
▲今回發行のお伽噺は文章が平易で總て新智識によつて作られて有りますから尋常一年生でも十分に讀めます而して眞に勉學の助けとなります殊に暑中休暇の讀物として好適なものであります是非御一讀を乞ふ
發行所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

建築金物、土工用具一式
和洋金物商　京城本町三丁目　佐藤半次郎商店　電話二四三番 電略(サト) 振替口座京城一〇二〇番

堅牢にして尙外觀に曲線美を有する我竹内ベント金庫は東洋金庫界の權威なり

京城本町 熊平支店 電話長一六二三四番

○朝鮮製煙界危機

煙草米國輸出旺盛と影響

馬詰東亞煙草會社理事談

朝鮮の上半期に於ける煙草の推移…額は九十四萬圓に上り之れを昨年に比し四十八萬圓乃ち倍額以上の增進を示してゐる、輸出の增進は一見祝すべきに似たるも仔細にその内容を檢しその結果を觀るこ必ずしも喜ばれず實は朝鮮煙界の ▲大問題たり 又危機に瀕してゐるとも云ひ得るのである何故かと云ふに前述輸移出數字激增の主要理由は世界的な煙葉の缺乏から米國の大規模な煙草業者が値段を問はず鮮内で原葉を買ひ進みドシドシ本國に發送するからである。殊に近來その傾向は愈々顯著となり朝鮮產葉は往々不足を來し勝ちせんとしてゐる、卒然此の狀態を觀れば煙草耕作者の福音であつて又朝鮮農村の收入を增すと云ふ點に於て悲觀すべからずであるが、然し乍ら一歩進んで考へると少數な ▲耕作者を利 するため全鮮の煙草製造業者が大に困惑し更にその結果全鮮愛煙家が高い煙を喫はねばならなくなり大局より見て最近の煙葉輸出旺盛は甚だ寒心に堪へぬのである、これあるがため八月一日より實行の煙草稅令改正に伴隨する各種煙草價の引上げも幾分強い意味の賣價引上げを餘儀なくさする傾向もあるのである、或は何も煙葉輸出の旺盛を患ふる必要はない、ドシドシ耕作さして生產を增させたらよからうこの意見もある、一應尤もであるが然し乍ら米國筋の鮮葉買ひ進みはホン最近著るしくなつたのであつて、既に今日に於て ▲米國の買進 みが多いからこて朝鮮の煙草耕作反別を殖す事は畠や土地の關係上絕對に出來にくい、乃ち明年を待たねばならないのである、か〻る際に米國筋の買ひ進みの旺盛な事は甚だ朝鮮の煙界又愛煙者間の問題である、から同業者は結束して當局に煙葉の禁輸若くば制限を望みたいこ思つてゐる

◇朝鮮煙草總會

朝鮮煙草會社は廿五日總會を開きたるが今回本社を京城に移す事となれり（二十五日午後七時大阪發電延着）

◇桑名取引所 援紛

桑名取引所紛擾の爲め同所理事こ與方廿五日急遽東上せり（大阪發電延着）

◇篠澤少將動靜

五師團參謀長在中なる篠澤少將は廿八日午前八時半來安撫使屯へ向へり（安東電）

◇小寺代議士

代議士小寺謙吉氏は大連出張中の處廿八日午後六時半安東通過京城に向ひたり（安東特電）

◇松崎博士通過

東京帝大教授法學博士松崎藏之助氏は二十八日朝入港高麗丸にて釜山に上陸直ちに北行したり（釜山特電）

○戰局形勢轉換

米兵渡來効果（承前）

▲陸上の形勢 米軍の渡來に依り聯合軍の準備に一段の強味を加へ反擊の餘裕を得たるは現在の西部戰況に徵して明瞭なるが敵も亦東部戰場より移動せる兵力に就て獨軍の現狀如何を考ふるに及び千九百二十年兵の徵募に依り著るしく其兵力を增大して確實に値知せられたる兵力のみに付きて比較するも本年一月末に於いて約百七十一師團なりしもの最近に於ては約二百八師團を算し而して其兵力配置の狀態は第一線戰列部隊として約百五十師團全軍總豫備として臨機の必要に應じ策動し得るもの凡五十師團に部署せり更に第一線部隊中に就き何れの部分に最も兵力を集團せしめつ〻あるやを見るにランス西北よりアミアンに對せる部分即ちコンピエーヌ、モンヂヂエー、アルベール附近に於いて最も濃密を極めイープル以北の地區及びヴエルダン以南の地區に於ては比較的濃密ならざるが如し此兵力配備の大勢は獨軍今後の攻守に密接なる關係を有し其兵力配備の濃密なるは蓋し此の方面に注ぐ事甚大なるを表示するものにして是れ畢竟獨軍が現にシャトーチエリー、メイゾン ドシャンパニュ間約三十里の戰線に攻勢を開始しつ〻あるに拘らず今後の主攻擊は恐らく此の方面に實現せらるべしと判斷さる、所以の主たるものなり殊に敵の攻擊奏効後に於ける効果を考ふれば此の方面より殺到せる部隊は海岸佛國の中心に通迫するに容易にして且つ英軍この連絡を絕ち得る成算に富み獨逸が最初より選べる戰略にも合し聯合國に對する打擊の多大なるべきを以て今後敵が此の方面に全力を傾注すべきを信ぜざるを得ず

▲聯合軍準備 然れども是れ既に聯合軍の知悉せる所なるを以て當然此の危險に備へつ〻あるは疑ひを容れず而も敵の攻擊を防止すると共に隣接戰線より攻勢に轉ずる餘裕を得たる聯合軍は今後の戰鬪に於いても同一戰法に出づべきを以て獨軍將來の攻擊は其進出從前の如く迅速に行はれざるべく其關係はシャトーチエリー、ランス間の新攻擊の經過に徵して明かなり以上の形勢より推斷せば聯合軍は形勢轉換の機を待たりと謂ふべく獨軍は今や正に勝敗の分岐點に立てりと觀ぜらる（完）

○西伯利軍事情報

▼烏蘇里の過軍 スパスカヤ附近の戰鬪に敗れたる過激派軍は烏蘇里附近に防禦陣地を編成中なり其指揮官はシロフスキーにして彼はニコリスクの戰鬪以來極東軍隊の指揮を司れるもの也目下烏蘇里附近にある兵力は步兵約三旅團にして單にチエック軍に對する陣地のみならず哥薩克各村に對しても戰線を防備しつ〻あり

▼獨逸秘密命令 チタに於て俘虜より得たる書類に依ればマジアール及獨逸俘虜は決して獨逸國民の富國民に對する個人的同情によりチエック軍及びセミヨノフ支隊と戰ふものにあらず六月七日附にて伯林獨秘密通報部發無線電報にて一派遣將校の許に到着せる命令に依れば西伯利亞に於けるマジアール及び獨逸の軍隊は西伯利亞に於ける勞農政府を反革命者に對し擁護し有らゆる手段を盡してチエック軍の佛國戰場に赴くを妨害す可しと云々こあり尚西伯利亞に在る獨逸及びマジアール兵は獨立外國派遣隊として將官タウベの指揮に屬し總ての軍隊給與論功行賞進級を支配し得ることを記載しあり（哈爾賓新聞所報）

▼セ軍形勢緩和 優勢なる敵に壓迫せられて國境附近に後退せしセミヨノフ支隊は二十一日朝左翼に迫れる敵を擊退し爾後形勢少しく緩和せり

▼獨墺軍飛行機 ニコリスクの戰鬪に參與せし飛行機はスパスカヤに在る獨墺俘虜の經營する飛行場より飛翔し來りたる者にて墺國兵之を操縱せし事確實なり

▼ホ政府とチ軍 沿海州方面には西伯利亞及びホルワット兩政府樹立し共に列國領事團及びチエック側より承認せらる〻に至らざりしが最近ホルワット一派ミチエック側との意志漸次疏通しホルワットはチエック軍の東清鐵道通過を承認するもの〻如く又カルムイコフは烏蘇里地方に於て過激派及び獨墺兵に對し協同して行動すること〻なれり（廿五日哈爾賓）

○墺國政變事情

墺地利ザイドラー內閣辭職しチエルニン伯新內閣を組織すべしと云へるがチエルニン伯が新內閣を組織するや否やは未だ明かならずとの事なり墺國國情は兩三箇月以前より屢危機に瀕し六月二十三日內閣總辭職決定の旨申報ありたるも皇帝の裁可を得ず今日に至りたるものにして其原因こ見るものは食料問題解決困難及び國內各民族自治の要望こ親獨政策の衝突にして最近伊太利戰役の敗戰及び西部戰線の獨逸攻勢勃興し來りて親獨的なるザイドラー內閣の辭職を促進せしむるに至れりされば同國政府は議會を閉會し民意を壓迫して一時を糊塗し來りしが永く斯かる狀態を繼續すること能はず首相ザイドラーは屢各政黨の領袖を招きて其主張を聽取し議會召集の場合には政府の政策を援助せんことを請へるも議會にメヤスチングボートを握れる波蘭黨議員は飽迄ガリシヤ及び露領波蘭の併合及其事實的獨立を要求して止まず斷然政府不信任の態度に出でたるを以てザイドラー內閣は議會の召集を行はずして辭職を決心したるも皇帝不裁可の爲め如何ともすること能はず遂に意を決して本月十八日に至り議會を開會したる旨情報ありたれば恐らく議會と衝突の結果愈々皇帝もザイドラー內閣の辭職を聽許するの止むなきに至りたるものならん（某外交通與眞）

○全南道稻作近況

全南道の稻作は挿秧期に於て降雨多量なりし結果各地共用水充分にして其成育も頗る良好なるが殊に挿秧後天氣打續きたる爲め稻の根付も早く目下各地稻長一尺三四寸に及び稻株も亦十四本內外に及び其第一回の除草を終了し稗拔きの最中にて今秋の豐作を喜び居れるが平野部方面にては多少螟蟲發生しつ〻あり又一般に稻熱病に罹りたる憂ひあり之は主として畓の冷却地こ日光の直射充分ならざるより畓に起るものなれ共今の所兩者共著るしき事なく被害地に於ては應急の策を講じつ〻あり要するに本年は今後天候に大なる變化なくば昨年同樣豐年萬作なるべしこ

大阪より

△洋釘類暴騰 洋釘類は米國品輸入杜絕以來南洋方面に對する輸出數量漸次多額に上り內地製品のみにては常に品不足を免れず從つて市況強調を呈せる折柄近來一般貿易益々旺盛に趣き自然製釘所も商進りに振合ありて相場は丸釘一二四釘金五十錢乃至一圓方を又復暴騰したり目先好調を持續すべく觀測さる

△砂糖は漸落 連日漸落步調を辿れる砂糖界は瓜哇糖の大輸入に壓迫されて更に分蜜糖は十三圓二三十錢に低落したり然るに精糖は目立ちて下行かず依然二十五六圓臺を支持し居り比較上聊しく割高を告げ居れるがコハ季節が需要期に際せるこ高値の手持品多き關係上商進れるに由るなりこ

△都市住宅經營 物價騰貴の影響最も痛切なる中流の救濟方法として住宅の經營は、歐米諸都市に於て著るしく發展を示し住宅を建築して之を賃貸するは大小都市一般の慣習となり、其の大規模の經營一二を擧ぐれば倫敦は一九〇五年に於て七千九百四十三軒を建築したるを創始として更に九萬人を容る〻大規模の建築を數十箇所に建築し巴里は一九一二年四千萬兆を投じて大々的建築を營み規模の大世界一の評あり瑞西のチユリーッヒにさへ千三百餘棟の市營住宅の設備あり然るに日本の大都市にては未だ是等の設備全く缺乏し最近澁澤男其他諸氏の計畫に係る田園都市は地區四十二萬坪資本五百萬圓の小規模なれども尚日本都市の缺陷に對して改善の先鞭を著けしものなれば其成績の良好なるに於ては都市經營の端緒を開き斯る方面に一向無頓着なる大都市に一刺戟を與へ都市住宅經營の叫聲を喚起するに至るべく在市外電鐵の郊外住宅地經營の如き營利を主とするものは中流階級の公衆に何等の好影響を與へず都市の公益を主とする經營に非ざれば生活難に襲はれつ〻ある中流に慰安を與ふる能はざるは泰西都市の住宅設備に努力するに徵しても明かなるべし我大阪市は東京に先んじて此種の經營に力を注ぎ都市の地位を高むるの必要生じ來るべしこ

△製粉鳥渡一服 製粉の增加せしにも拘らず端境期なる爲の關係より變態的の上向きを呈したる製粉界も高値に買人なき爲め流石に鳥渡一服模樣の商狀を呈し居れるも增田製粉の八九限米値の如きは實在五圓十五錢賣簽及び賣簽は四圓九十五錢を發表し之れ以下の値段にては絕對に約定に應ぜずとのことにして會社は却々強腰の狀態にありこ

△非增資派有利乎 大阪電燈會社の增資問題は增資延期を主張する島氏が其全權を掌握し居れる形にあり島氏が如何なる成竹を有するかは容易に之を忖度するを許さざるが島氏の所謂折衷案なるものは其內容に於て非增資派の寺田氏の主張に相通ずる點ある事は之を否定する能はざるものあり却つて大宅こ密接の關係を有する片岡直輝氏の增資に關する態度を見るに寺田氏の主張に賛成を表し居れる實情にある事は即ち非增資派にとりて夫だけ強味こ云ふべく島氏の延期說は別に期限てのの主張にあらざる事は時間の遲延を來す丈け非增資派の立場に丈け強味を與ふべきものこ見るを得べく殊に永田社長の形勢非こ見て辭表を提出し居れるなごはより多く非增資派の立場の有利なるものあるを立證し居れるにあらざるか（大阪支局）

○輕鐵と群山商議

群山商業會議所は忠南輕鐵問題に關し態度を決定すべく此の程評議員總會を開きたるが其の結果忠南輕便鐵道の實現は群山市民の希望にして忠南の產業開發に伴ない群山の繁榮に多大の好影響を與ふるものなりこ認むるに付同會議所は熱誠之を歡迎し企業者に對しては及ぶ限り斡旋の勞を執り輕鐵の設立の爲め株式を募集する場合に於ては同會議所評議員は群山市民に對し株式應募方の勸誘を爲す事を議場一致を以て可決せりこ

○咸興炭の販路

咸興炭礦會社にては咸興炭の京仁供給を一層盛ならしむべく目下南滿鐵こも交涉し自社の炭運搬の能力增進方法を講じ少くこも一日百噸位の京城發送を近く實行する計畫なるが一方西湖津より新彈間に咸興炭輸送のため木船の航路を開くべく目論見中なりこ

○京釜電話線多忙

京城釜山間の長距離電話線は電報通數の增加せし如く最近通話度數著るしく昂進し時には通話輻輳の爲め申込後通話まで五時間以上を要する事もあり自然增線の必要を生じ來るべしこ

○京管建設事務所

愈々開設の豫定なりし京管局城津以北の建設事務所は愈々來る八月十五日より開設の事に決定せるが事務所長は元山に在任の福井懸氏任命され既に福井氏以下技術部員は同地に駐在測量に從事しつ〻あるが事務部は現に同地建設事務所廳務に接せし由八月二日頃赴任事務所開設準備に著手し前記の如く十五日より開設すべしこの事なり（元山）

○府煙草業者注意

京城府稅務係にては二十八日午前十一時より府廳樓上に於て管內煙草賣卸賣業者三十餘名を招き煙草稅令改正に關する注意を爲したり

○順撫炭輸出順調

撫順炭の海外輸出は一時船腹の關係上不振を極めしも其後內地仕向船の入港頻々たるより六月中には三萬八千百八十五噸の輸出高を示し先づ更新れ期節としては順調といふべく前月より九千九百八十噸增加せるも前年同月よりは二千六百六十八噸の減少にて其中汽船積み三萬七千九百九十二噸戎克積み百九十三噸なりこ

□電報延着

東京方面よりの電報は引續き延着のため本紙締切迄に到着せず締切後着の分は夕刊に掲載すべし

○松崎博士入京

東京帝國大學法科大學教授法學博士松崎藏之助氏は廿八日夜入京朝鮮ホテルへ投宿せり

○三浦文學博士

京都帝國大學文科大學教授文學博士三浦周行氏は廿九日朝入京浦尾旅館に投宿の筈

○東亞記者團招待

東亞煙草會社長島吉次男氏は二十九日午後六時より京城記者團を化月に招待し清宴を催す筈

○平南農事改良講話

平安南道各郡に於ては八月中各地方適當の場所を選定し地方農民を召集し郡在技術員及び面技手講師こなり堆肥製造法種の撰取病蟲害驅除豫防法等夏季に於ける農家の注意事項一般農事改良上の講話會を開催せしむべく夫々道廳より指示通達中なるが講話會開催に當りては本府考案になる普通農事產業等の最新式幻燈映畫を使用して講話をなし效果あらしむる筈也こ

○木浦港浚渫工事狀況

木浦港浚渫工事は土木局木浦工營所員の苦勵によりて早くも既に豫定の三分の一を終了したるが目下浚渫船修繕中にして右終了こ同時に更に著手するに至るべく此向きなれば本年度工事は豫定より早く終了すべし尚來年度の浚渫工事は既に設計出來上り上司へ稟申附したる由なるが設計によれば現在の浚渫作業員を更に擴張し僅に五百噸級汽船を出入碇泊せしめ得べき豫定なりこ（木浦）

○埼玉敎育視察團

埼玉縣敎育視察團一行二十名は二十七日午前釜山上陸一泊の上二十八日午前十時半京北行せり（釜山）

○京城府稅務主任轉任

京城府第二課一係主任武田吉太郎氏は這回怪府在勤務を命ぜられたるが後任は目下物色中なりと

人事消息

▲木村林次郎氏（三菱內務局務課長）一十八日夜入京天眞樓へ
▲加藤耕作氏（大阪共榮信託株式會社取締）同上
▲小林園一郎氏（福岡炭業家）同上
▲山縣光三郎氏（福岡炭業家）同上
▲尾崎俊介氏（南洋金礦株式會社理事）同上 原金へ

鳥瞰雜俎

◎又しても獨逸の講和風說出づ勝ても敗けても出て來る物は獨逸の講和
◎前にも其條件が目前突進されたるもの〻殆こ大差無論の好意提議也
◎以前獨逸の講和を提議せし際は獨軍猛烈當る可らざるの時なりし
◎當時獨の提議に應ぜば取も直さず屈辱的の妥協故に各國提議拒絕
◎當時獨若し誠心誠意和を欲せば講和に躊躇せずこ東與國間は公言し
◎されど聯國こして面目の立つが即ち講話締結の潮時なりこ見よ
◎獨逸が闘なしく非公式に講和の探を入る〻際には却々の御贈答む
◎蓋今の處聯國は未だ首肯すべきにあらざるも戰局の漸廻の兆か
◎今月は何故に斯くも慘禍の續發か
◎月初德山碇頭に戰艦河內を呪い今又た下關碇頭に火藥大爆發あり
◎何たる悲慘事ぞや彼こ云ひ之こ云ひ何れも火藥の困するは奇怪
◎殊に火藥爆發の場所が深夜の下關こ云ふに於て奇怪は更に奇怪也
◎取扱ひ者の不注意か監督の不注意か責任は何れ其二者也速に調よ
◎商船鹿兒島丸印度洋上にて行方不明こなりてより既に五閲月を經
◎其後の搜索船旅順丸手段を盡し搜索せしも遂に何等手懸なし
◎嘗に行方不明なりし常陸丸は聲分明鹿兒島丸亦同轍か之も奇怪

第二號外配附

下關驛構內火藥爆發事件に關し廿八日午後更に第二號外を發行し市內及び各地方樞要地に配付したり

○洋紙輸出減少

[illegible]出は二千三百萬封度にして輸入は千五百萬封度に增加し差引四千七[illegible]見るに至れり今大正七年度始め四[illegible]加に伴ない內地の消費高は殆こ倍[illegible]激增したるにも拘らず紙價は反對[illegible]

○露國遂に屈す

[illegible]也せしむるこ[illegible]至る可しこ（東京）

▲冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事と延て燃料の高價なる事だこ思ひます！
▲此二つのものは『ペーチカ』を設備なさる〻事に依つて大に輕減せらる〻のであります！
『ペーチカ』の設備は愈押詰つてからでは間に合ひません、今の內の御計畫が大切であります！
ペーチカ築設專門 京城府渋江通八番地 宮崎組 電話龍山五四二番 振替口座京城五四〇九番
說明書御申越有次第贈呈

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース頗美本 ◉七百餘頁 ◉定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る
發行 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
取次 京城本町二丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 嚴松堂

▲化學用 白硝酸 硫酸
▲鑛山用 鹽酸 醋酸
御照會次第直段申上ぐべく候
京城明治町貳丁目 各種藥品問屋 鳥久京城出張所 電話一四四四番 振替京城八六七番

肥料 過燐酸、硫酸アンモニヤ、智利硝石 鰊メ粕、油粕、大豆粕
稻作用、配合肥料、果樹用、苗圃用 桑作用、煙草用、其他各種取揃
安價販賣の目的を以て左記各驛に配置致し居候御注文の際は最近驛より貨車見積價格提供致し候の便宜と迅速を以て御用命に應じ申候
販賣特色
配置驛・京城・釜山・裡里・水原・鳥致院・平壤

大根 蕪 各地產種
京城南大門通四丁目電話一八五〇番 株式會社大阪產業京城肥料部
振替は京城株苗商會楠原麻積太郎宛京城一四二九番

無煙炭一手販賣廣告
長水院無煙炭（粉塊）
炭質優秀 價格低廉 出炭豐富
水分 二、四二 灰分 一〇、五八
揮發物 一七、一六 硫黃 〇、三二
固定炭質 六九、八四 發熱量 七三七〇
露頭附近試掘炭の分拆にて此の結果を得たるものなれば現在採掘中のものはより以上優良なること論を俟たざるべし
價格は精々勉強可仕取纏め多量の場合は特に御相談可致現物先物の契約に應ず
一手販賣 朝鮮平壤本町 株式會社中村組平壤支店 電話長五〇二番四四一番 振替貯金京城三三一三番

資本金六百萬圓 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇、五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候◉右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

旅行具專業 岩田鞄店 京城本町二丁目 電話九五四番

優等清酒

發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六二五四番 振替京城二〇四番

創業明治二十八年 時計及蓄音器卸商 黃金町二丁目 喜多金光堂 電一〇二五 振替京城七八一

膚には涼風、手には……
日本に初めて出來た
美乳 一滴！
夏は何よりも涼風が歡迎されます、是れ明白な人情。夏の皮膚衛生には何よりも日本に初めて出來た美乳が歡迎されます、是れ明白な與理。即ち美乳の一滴は克く皮膚の內面組織に滲み入つて生地から色を白く美しくするのみならず、日燒を防ぐ一大特色を有つてゐます。それ程美白力の顯著な美乳を愛用してこそ夏が來ても常に涼しい化粧が發揮する譯。（美乳一瓶定價廿五錢）

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
院長 酒井一郎
電話一八番 二六〇〇番

現在の需要…[illegible]…地消費高なりしが大正五年に及んで漸減して…分も輸入されたり即ち大正二年迄では戰亂の影響現はれ輸入は三千…に於ける洋紙需供狀態を見るに輸…八百萬封度に減じたるに輸出は八…

▲輸出は激減 し輸入は米國よりの小部分丈の輸入増加を…即ち以上の如く輸出は殆んど三分の一に減少したるに輸入は四割方の増加を見たれば内地抄造高の增…

▲多大の増加 を見たるは疑ふべからず斯く内地供給高の…我財界一般の好況なるに伴ひ需要…なる洋紙をも厭はず消費増加せるものと云ふべきか（東京）

…獨逸大使館を保護する名義の下に獨逸軍隊二百名を莫斯科に駐屯せしむる…[illegible]

○吾輩は議論好きだ

立花將軍の新任各將官人物評

◆十日間ぶつ徹して食事中も議論をした◆

北鮮部隊巡閲の途上轉任の報を手にし急遽歸京したる新第四師團長立花中將を京元線に訪ふ二十六日漣川に上陸すると同時に轉任の報を得たので、上陸後たつた一時間ばかりの後慌て、

◆◆越後丸 に便乘した、同行の秋川参謀は豫定の通り巡視の途にあるが小出新大佐は我輩と一所に歸つて來た、海上が穩かであつた」が船中の偶作を見て呉れ給へ

十丈狂濤激怒 一天吐霧海雨暗 舟中別有安心法 静座焚香讀老經

『アハツ……』と中將は何時になく

◆◆快活に 腹の底を割つたやうに大笑ひする『出發は八日の晩、高島中將とは龍山で會ふ事になつてる宇都宮軍司令官とは多分釜山で遭ふやうになるだらうと思つてる』大阪には林知事を、始め士官學校時代一期違ひであつた

◆◆同郷の 村岡捷理や陸軍省に同時に居た渡邊などが居るから萬事調子が宜からう」ナニ朝鮮を去るに臨んでの感想？大正元年参謀長として著任以來軍務總長師團長に歴任して茲に

◆◆七年間 朝鮮は江原道の一部を除く外は全鮮を踏破した程だから總督政治の施設に對しては何人よりも徹底した批判力を有つて居る事を自信する」が开麼事は言ふ限りのものぢあない」と記者の手帳を取つて

十年湊皮幾如銀、深愧無機巧對人、淡水浴々流不盡、臨岐惆悵涙沾巾、

と一詩を走書きし話頭二轉三轉、出兵問題から亜細亞同盟論に及び

◆◆同乘の 記者連を押に捧き新任各將官の人物評に至れば『宇都宮中將は明石流の男で我輩のやうに思つた事を腹藏なく言はない、人物は確に傑出してゐる、高島中將は一言にして盡せば豪邁だ痛快な男だよ兒島中將は遠謀深慮とでも言はうか君等が突喚して行つたつて如才がなくて却々

◆◆腹の底 を割らない斯う見來つて我輩や明石大將を比較すると一方は八面玲瓏で我々は八面衝突の方だ、先年寺内總督に就任當時明石大將から引繼を受けた時なども一週間議論で通した程である我輩は

◆◆談話を 言へば理屈になる明石大將も我輩と面に向へば議論を吹掛ける、いつかなども僕の家に居り乍ら十日間ぶつ徹して食事中も論議をしたので山形大佐が『仲が宜いのにどうして喧嘩のやうに議論をするんですか』つて聞いた程だつた

◆◆大阪へ は今度で三回目だ大阪へ行たら大に體育を奬勵しやうと思つてる云々』と最後に大阪鎭臺に榮轉した感想を叩けば多少無きに非ずと呵々大笑し乍ら欲上豐公偉績墓と言ふ一詩を示す

立花將軍轉任所感
欲上豐公偉績墓 壯圖難遂愧將才 同頭四境風雲急 徐眄北天聞遠雷

京元線列車中の立花中將＝二十八日午後＝

○原因未だ判明せず

下關火藥大爆發後聞

▼二十萬斤の火藥が悉く爆發したので無い

下關の慘事に關し其筋聞くところに依れば這回慘事の原因となりし火藥は大阪兵器廠より貨車二十五輛に積載し輸送し來れるものにして二十五日及び二十六日の

▲二回に亘 り下關驛へ到著したり火藥は到著と同時に解艀に積取り門司沖碇泊中の汽船〇〇號に運搬する豫定なりしも二十五日は恰も暴風雨なりし爲め荷役を中止し其儘驛構内假倉庫に格納し二十六日早朝より内國通運の手にて運搬を開始したるが既に

▲其大部を 〇〇號に運搬し終り最う五六艀部二艀で全部の荷役を終了すると云ふ時其二隻分の火藥が爆發したものにて二十萬斤の火藥が悉々く爆發したる譯にはあらずと

▼又一說 仲仕の過失か

爆發の原因は目下憲兵調査中にて尚不明なるも右は取扱ひ粗漏の結果にして或は從業中の仲仕が解艀に積込む際無雜作に放り投げし爲めならんと云ふものあり又一說に依れば仲仕が誤つて足蹐み辷らし其途端火藥を取落したるが爲めならんとも傳へらる

▼慘又慘 損害約二萬圓

現場の慘害は眼も當てられず見る者をして慄然たらしめつゝあるが爆發と同時に西細江町西の各町にも夫々被害あり其最も甚だしきは豐前田町の百七十五戸竹崎町の廿三戸長門町の十一戸等にして之等は何れも雨の如く落下し來る鐵片若くは石材の爲め屋根戸障子等を破壞されたるもの、如く此外にも被害家屋少からず總計五百戸を算したるが損害額は比較的輕微にして約二萬餘圓の見込なり

▼混合列車の負傷乘客

京都行き混合列車は竹崎町踏切附近進行中爆發の飛ッちりを受けて大損傷を蒙り乘客中五十名の死傷者を出したること既報の如くなるが當時一等車には恰も二十六日門司凱旋座を引揚げて歸東の途にありし市川小團治、松竹合名會社店員佐藤淳氏等あり何れも頭部若くは面部に輕傷を負ひたるが此外下關稲荷座を打揚げ歸洛の途にありし喜劇樂天會一行中にも亦負傷者ありたりと

▼窓掛を引裂いて 繃帶代用 關屋軍醫の活動

佐世保の關屋軍醫は東上の途部下の看護手と共に偶々遭難列車に乘込み居たるが軍醫は列車破壞の爲め乘客中多數の死傷者を出すや逸早くも部下を督勵し客車内のカーテンを引裂きて繃帶代用として應急手當に盡力せしが突嗟の場合にも能く沈著の態度を失はず一瞬の間に忽ち當意即妙の措置に出で最も眼ましき活動振を示したるは流石軍籍の人なりとて稱讃せざるものなかりき

▼附近遊廓の大混雜

豐前田町及び竹崎町遊廓には双方合して二百戸に近き貸席あり宵の口より多數の嫖客詰めかけ却々の賑ひなりしが其賑ひの眞際中突然爆發の一時に落下したるが如き一大音響起りし爲め何れもアワを食ひ眞裸體の儘悲鳴を舉げて屋根より飛下りるもあれば唯だ右往左往に逃げ惑ふもあり又其の中には秋を抱へた儘腰拔かしたる娼妓もあるなど今迄の歡樂境は俄に阿鼻叫喚の巷と化し上を下への大混雜を呈したるは氣の毒にも亦滑稽なる喜劇なりき

▼僥倖にも命を拾つた人

當時現場にありて行方不明となれる者は其後取調べの結果百餘名と判明せるが唯一名内國通運社員玉井新次のみは不思議に命を助かりたり（以上釜山支局電話）

☒鰻の話

形も習性も餘程異つてゐる

けふは丑の日である、丑の日に鰻を食ふ習慣は邪氣を拂ふ爲めだとも云ひ昔平賀源内が或鰻屋の窮乏を救はんとして其鰻屋の表に『本日土用丑』と書き出したのが始りだとも傳へられ、色々の俗說があるがこの鰻と云ふ奴は餘程面白い習性を持つた魚である、これに就て動物園の下郡山主任は語つて曰く

鰻は喉鰾類に屬する魚類であるが形も習性も餘程ほかの魚類とは異つた所がある、先づ形の上から云ふと第一誰も知つてる通り蛇のやうに細くて長い、次ぎに腹鰭と云ふものがないこれがほかの魚類と異ふ最も著るしい特長である、鳥渡見ると鰻には鱗がないやうであるが

▽不完全 ながら鱗はあることはある、唯だ全身皆に埋つて居るから見えないまでのこと、又ズルズル滑つこくて容易に捕へられぬのはこの皆のお蔭である、習性はほかの魚類と異ふのみならず雌と雄とでも亦非常なる相違がある、普通吾々の口に這入る川鰻は雌ばかりで雄は川に上らず川口の——それも海の方の——

▽深味に 棲んでゐる大きさも雌ほど大きくはなく雌が二呎から三呎もあるのに反し雄は大きいので漸く一呎餘しかない、雄が河に上つて來ぬ結果一時は鰻に雄は居ないと斷定された時代もあつた、研究の結果雄の存在を知つたのは近年の事に屬する、雌は苟くも水のある所なら何處にでも棲んでゐるが、不思議なのは毫しも流れに通じて居らぬ孤立した池、井戸の中などに棲んでることだ、何うして孤立した池や井戸に來るかと云ふと

▽陸地を 匍行して來るのである、從つて好天氣の日には匍行が困難なので雨降り揚句のまだ土も草も充分に濕つてゐる時を選ぶと云ふから面白いではないか、雌は四五年で成熟期に達するが成熟期に達すると雄と云ふものを知る、卻々ロマンチックな生命だ、然しそれも海へ還ると終りを告げ生殖作用を營むと同時に

▽雌と雄 も死んで仕舞ふ相だ、『不貞の見』と云ふことか

のるが、鰻の幼魚ほど親に似てないものはない、それは合歡柳の葉のやうに左右に平たい透明なペロペロしたもので誰が見たつて鰻の子とは思はれぬ位、それで一時は全く別の名をくつ付けられたこともある、幼魚は成長するに從つて長さ及び大きさを減じ恰も針金のやうなものになる、それから

▽次第に 鰻の形態を備へて來るのだが、この針金のやうになつた鰻は、或る時期に達すると打揃つて河を上る、春三四月頃河漁をやられた人は御存知であらうが、鳥渡した石の下などに針金のやうなものがウジョウジョしてゐるのは皆鰻の子なのである、斯うして河で充分の發育を遂げ成熟期に達すると前に云つた通り海へ下るのであるが、その時季は秋十一月頃だ

○盛んに活動してる亞米利加の婦人

募集に應じてドシドシ戰地へ

西部戰線には今や殆ど世界各國の人種を網羅して戰爭に從事せしめて居るが更に其後方を見ると獨り男子ばかりでなく

◇各國の婦人 が又各種の事業に參加して戰線にある男子を助けて居る、此間に最も目立つて見らるのは米國から送られた電話交換手である、藍色の上衣に鶴茶のスカートとシャツ、夫から下着は桃色のものである、帽子は米國兵と同じく徽付一文字形で之に信號隊の記號である白と橙色を交へたものを巻いて居る、何故に米國から

◇是等多數の 電話交換手が佛蘭西に派遣されたかと云ふに當初戰線にある米軍の兵士から直接に佛國の軍隊へ電話で話をしようとした處が、言語が異つてる爲めに何うしても巧く通じない、其の爲めに徒らに時間ばかりを要して其効がないのを發見したので、是れならば英佛兩國語に通ずる電話交換手を置いて

◇兩軍の間に 通譯をさせながら通話をさせたら利益が多からうと云ふので而て此米國軍の司令官から米國政府へ其旨を申請した、幸ひに米國には佛國から移住した住民が少くない、殊に佛國人の多く住つてるモントリールやカンサス州などでは移住民は英語と佛語との二樣の話が出來るやうになつてるから先づ其州から試驗の上兩國語に堪能な若い

◇婦人を募集 して之を出征せしめた、之れが實に偉大な効果を奏する事になつたので交換手の俸給は月五十弗、監督百二十五弗、主事補七十五弗と云ふので而るに米國兵は此故國の交換手が來てからといふものは、一層に奮闘するやうになつたと云ふ事である

○慶北各地出水

各所の道路杜絶す

大邱附近にては二十五日夕より降雨あり爲めに琴湖江の增水八尺に達し大邱、浦項間の二等道路上を貫流せる支流氾濫し道路上の浸水四尺に及びたる爲め一般の交通杜絶せり。

◆慶山郡にては夜よりの降雨にて琴湖江出水し慶山、河陽間の交通全く杜絶し大邱、浦項間の自動車一時運轉を中止せり。

◆高靈郡にては廿五日夜中より降雨烈しく出水の爲め廿六日午後三時より大邱、高靈間の交通全く杜絶し邑内東方郡廳の堤防數箇所決潰せり又高靈面堤北洞は四周出水の爲め一時全く孤立の狀態に陷り危險刻々に迫りたるを以て消防組の非常召集を行ひ戒に努めたる爲め午後十二時に至り辛ふじて内との連絡を保つに至れり而して同洞九十三戸は全部浸水し内六戸は倒壞し尚他に倒壞の虞あるもの多數あり邑内にては目下罹災民救助の爲め焚出を爲しつゝあり

讀者文藝（一行十七字詰十五行以内）（の詩稿を呈す）

◎米國の西伯利出兵（一等）
物には付『御苦勞なものは』 寒邊 扇子
▲相撲見物の力瘤 利川 游光生
▲獨逸の日米離間策 第二浦 三根郎
▲ひやのお馬 利川 幸子
▲雨乞ひの使ひ 京城 四郎

◎豪雨に閉込られた三浦博士一行

目下海印寺に滯在

目下慶北管内高靈、慶州地方古蹟調査の途に在る京大教授三浦博士一行三名は廿六日高靈郡海印寺より同郡邑内に到著したるも前項所報の如く廿五日夜來の豪雨にて洛東江氾濫し大邱間の交通杜絶せる爲め復舊を待つて大邱に向ふべく目下同地に滯在中の由なり（大邱）

◎烈風家屋を飛す

廿六日午前七時頃大邱大興町中島栽之の新築草葺木造平家（建坪四十二坪の縁宅）烈風に吹き倒され大工淺原某は家屋の下敷きとなりたるも腰部に打撲傷を負ひたるのみにて生命には別條無かりし由、損害額約六百圓位なりと（大邱）

○大邱果實出廻好況 大邱果實出廻りは其後益々盛況を呈し二十四日は苹果安東縣三十五箱、愛二浦十二箱、平壤二十箱、南大門百二十四箱、釜山三十一箱、計七百十八箱、桃は平壤百十八箱、南大門八十九箱、釜山二十一箱、元山二十一箱、計二百二十二箱、合計九百四十二箱の大出廻りを見たるが下の關五百十八箱は神戶方面果實缺乏の爲め大注文の到來に基因し其他大阪よりも大注文に接せるを以て當業者は取引先に付き調査中なれば不日大出荷を見ん形勢なり（大邱）

○聯合浪み淨瑠璃日延べ 京城座にて開催中の各派聯合浪み淨瑠璃會は好人氣のため二十九日迄日延べせるが八日目（二十九日）の出演者次の如し 御祝儀（入登）紛擾（登初糸登太夫）係作切腹（旭外、鶴澤小庄）首實平（叶糸小庄）太十（志榮糸小庄）

○取消 二十七日朝刊『血眼で繭の買出し』と題する記事中黄金町の不二興業支店が…取りをなせる旨既報せるは誤りに付取消す

桃谷研究試驗所創製

學理の精粹を發揮したる

美しくなる液

美顔ユーマーの作用こそは近頃珍しい現象として世の婦人男子方の間に噂の種となつて居ります。

唯一回の使用

その時だけでも、顔色の美と皮膚の感じに於て、既にこの新しい『美しくなる液』の作用の程が明かに窺はれます。

二回三回四回

使用者は最早鏡の内に、新しき美しさに向ひつゝある自分の容貌を見出ださずには居られません。

これなら萬人が求めて止まぬ眞の美容の目的が充分に達し得られる……

斯う桃谷研究試驗所技師たる諸學者が認め、確固たる自信を以て、其研究を發表したる創製品＝美しくなる液＝それが此美顔ユーマーであります

美顔ユーマーの作用と成分

◇顔色の艶麗 これは桃谷研究試驗所に於て論んだ時、先づ研究して新しく發見した粘液美容素の作用であります。此粘液素は、顔色を艶麗にすると共に、皮膚を柔かに滑かにして毛孔を開きます。

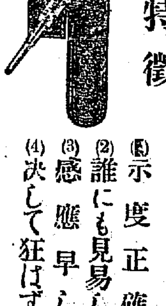
◇白色と美容 斯うして毛孔の開いた所へ、これも桃谷研究試驗所の發見に成る新しい白色美容素が其開いた毛孔から浸込んで行きますから液は一滴もムダにならず、其強い白色美容の作用を充分に現す事になるのです

◇日燒を防ぐ成分 その開いた毛孔から浸込んで働く成分の中には、白色美容素の外にも種々の成分（例へば皮膚の新陳代謝を活潑にして美容を促す成分の如き）が在りますが殊に御注意を乞ひ度きは、日燒を防ぐ成分であるので、此美容素の作用がありますので、美顔ユーマーを常用すると日に燒けないといふ事が皆様に言はれてゐるのであります。

◇皺と荒と顔色 前に述べた粘液美容素にはまた皺を防ぐ作用が備はつてゐます其譯は此美容素は皮膚を軟かに而て滑かにする作用が優れてゐるからです。それから外出前などに一寸附けただけで顔色を晴やかに活々させる事、顔剃の後に用ひて剃刀カブレを防ぐ事等も特質の一つであります。斯ういふ學理上、實際上完全な美容液ですから、美顔ユーマーは若き婦人方ばかりで無く、男子方及び年のいつた婦人方の間にも非常に賞用されてゐるのです。

名譽ある美顔ユーマーを創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌達
同 藥學士 小磯勝次郎
同 同藥學士 齋藤鋭助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
同 醫學博士 山本遼二氏

▲パインAG三分計體溫器▼



◎四大特徴
(1)示度正確
(2)誰にも見易し
(3)感應早し
(4)決して狂はず

㊕農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付
▲優美サック入定價壹圓五拾錢 送料 鮮内十二錢 外三十錢
パイン檢溫器 發賣元 京城大平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

人事周旋業 百般
京城府明治町貳丁目 萬年社 電話長一八四四番

中元御贈答品

發賣元 藤製菓合資會社

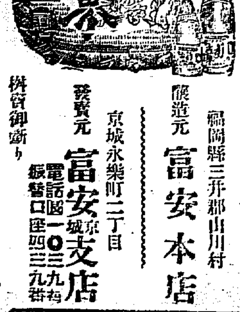
内科 小兒科 入院隨意
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 戸川武
永登浦分院長 醫師 久保廣次
京城旭町一丁目 小林醫院（電話九六二番）

滿天下の賞讚を博したる人參エキス
定價 ◇七日分 金五十錢 ◇十四日分 金壹圓 ◇三十日分 金貳圓 ◇四十七日分 金參圓 ◇八十五日分 金五圓 ◇百七十五日分 金拾圓

陸軍御用 元祖

朝鮮高麗人參（白參紅參）直取引貿易商 京城本町一丁目 津村兄弟商會本店
人參エキス本舖 京城本町一丁目 電話一四八一〇番・振替京城三五二一番・取引百三十銀行
京城本町二丁目 電話一八七〇番 津村兄弟商會支店
大邱驛前 大邱支店
京城本町二丁目 山岸天佑堂
京城本町四丁目 木村藥舖
北島藥舖 其他朝鮮全道四百十ケ所
大特約店 日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候尚一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候
品質優良藥効の顯著なる人參エキス

優等清酒



醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安支店 電話四一〇三九番 振替口座四三九番
桝賣御斷り

妻の心 五十一

九の一 小林蹴月作 武内桂舟畫

『什うしたもんだらうの、順さん、法律と云ふものは、それ程不便に出來て居るものとは知らなんだが……。』

女隱居の喜久子は、思案に餘つたらしい顔を顰めて、揉み手ながらに相談を持掛くるのであつた。

『何れの途、本人が瘋癲か白痴者でない限り、戸主の籍を取除けて了うと云ふ事は、困難らしいんです。實はいろいろと辯護士とも相談して見ましたんですがね。』

櫻井は、今方來たばかりと見えて、洋服の腕を寛げ、手巾で額の汗を拭きながら答へる。

『然うかの、では仕方がないから家督丈は今の儘にしといて、失踪の屆けでも出しといたら甚麼もんでせう。』

『失踪の屆ですか？』と、櫻井は勿體らしく小首を捻つて、『それも甚だ變なもんですな。苟めにも一個の代議士であり、會社の重役をも勤めて居る人間が、失踪して行方不明になつてる道理がありませんからな、伯母さん、まあお待ちになつて御覧なさい。』

斯う云つて、櫻井は少時腕を組みつゝ隱居所の隅々を睨め廻はした。

『何か別に好い工夫でも付きましたかの、順さん。』

『別段好い工夫と云ふでもありませんがね、伯母さん、貴女から一ツ唐子さんを説き付けて、久三郎さんの實印を此方へ取上げて了うんですね。』

『おう、成程々々、實印を取上げて了へば、此の財産に手が付けたくたつて付けやうがない譯ですからの。』

『然うですよ。實印を取上げて、それを此方で應用するのは、無論好くないことですけれども、默つて知らぬ顔に隱くしとく分には差支へありませんからね。』

『併し、紛失屆を出して、改印されて了へば、それも矢張骨折損になりはすまいかの。』

『は、は、は、伯母さんに然う申されて見ると、それも大きに然うで御座いますね。結局仕方がありませんから、徳義上の問題として、本人を町川家の家庭内へ足を踏み込ませずに置くより外はありませんかな。』

『ちらりと今、母宅の神の者に聞きました所では、昨夜とやら通用門の方から飛び出して行つたぎり更に歸つて來ぬと云ふ話ですが……多分は又、貴郎の云はれた招魂社裏へでも入り浸つて居るに違ひないんでせう。』

『確かに然うに違ひありません、何にせよ、その女と云ふのは、久三郎さんの亂までも惚して居ると云ふんですからね、本來ならば、唐子さんも既う好い加減で、見切りが付きさうなもんですが……心得違ひにも程のあつたもんですな。』

『然うなんですよ、本統に。我が子ながら愛憎もこそも盡きはてゝ了ふんです。實はね、順さん、貴郎から昨夕、招魂社裏とやらの女が、久さんの情を搦して、漸々だと云ふお話を聞きましたので、唐子が何と云ふか知らと思つて、探りがてら、その話を爲て聞かせました所がね、什うでせうまあ——どうせ自分にはもう子と云ふ者が出來さうにないから、若し萬一その女が子を産んで呉れたら、藥の上から直に此方へ引取り、自分の子として育て上げて見たい……と、這麼事を云つとるんですもの。手も足も付けられたもんぢやありませんや。それにですね、妾に斯う打明けて云ひませんけれども、現に今日も、伜やを使つて、久さんの在所を探しに出してる容子なんですよ。亭主思ひと褒める人もあるか知りませんが、何ぼ女だからと云つて、意氣地なしの舞誰しにも程があつたもんです。妾やもう齒痒くつて齒痒くつて……病人でなけりや、突き飛ばしてもやりたい程に思つてる所なんです。』

喜久子の氣質としては、眞個斯う思ふのも無理はないのである。櫻井は、此處ぞ薪の加へどころと隙さず小膝を前へ進める。

◎大連保險前途 復も縺れんとす

たるに對し滿鐵會社は三井支店よ[illegible]
を具擴し此以上の損害は保險會社[illegible]嘗んぜざれば其損害を滿鐵に保證せしむるか或は他の保險會社を選[illegible]
ては荷主側が若し保險團の致せる[illegible]七割五分保險又は條件を附したる[illegible]
出せる割引保險を安險團が認めて[illegible]此割合なれば將來大居的火災を防[illegible]
ひは保險するもの則に現はれたり[illegible]とすれば保險會社の不安は依然と[illegible]
聞くに左の如し ▲輸出 總額十萬九千八百二十四[illegible]
要品の價格左の如し(單[illegible]) 白米五四二一、鯛魚及び干魚二五一五 七、石油八四五八、生牛八〇九六[illegible]
したり之れ引續き粟高粱及び六月に至り木材等の入荷增加したるに因るもの[illegible]

鰻を食ふ注意 小供に注意せよ

夏は鰻屋が繁昌する殊に土用の丑の日は我も我もと鰻を食る暑中は視力が弱るから脂肪に富んだ鰻を食るのが滋養になると云ふのが

土用 に鰻の繁昌する理由であるけれども脂肪は體溫を發生する性質を帶て居るので冬に於てこそ成るべく此の種の食物を多量に取つて寒氣を防ぐ必要があるが夏には格別左樣な必要がない分量から云へば

冬の 半分位で充分である而して視力の衰へる憂ひもない鰻は川魚中最も脂肪に富み隨つて消化が惡いので鰻を食て下痢を起す人もあるし殊に梅干と食合せの惡い事は

勿論 鰻を食ながらサイダーを飲んで腸を損ふ者もあるサイダーには酸が含んで居るので鰻の脂肪が凝固する結果腹中に故障を生ずるのである

◇大人 でも鰻は右の理由で餘り多食を勸め度くないが子供に於いては特に注意しなければならない七歳以下の子供は胃腸が未だ發達して居らぬから絶對に食させぬやうにせねばならぬ（東京長井小兒科院長談）

◆理想的の土用干は斯う

そろそろ土用干の時期になりました、土用干は土用中にするものと思ふ人もありますが、是は暑中に限らず却つて秋風の吹き初めた頃の方がよいとも申します、尤も

★家族の多い家庭 などでは此の土用干はなかなかの大仕事ですから暑い盛りにするよりは少し涼風のたち初めた頃になれば出し入れや手入れなどが大層苦しみがなく出來ますから自然その取扱ひが叮嚀になります、而も此の土用干は干すことよりも再び入れ物に納める時に注意が必要です、然るに暑い時は仕事がしにくゝ從つて

★萬事が粗末に流れ ますから少人數の土用干は兎も角大家族では秋の初めに手入れをした方がよいと申します、又よく家族が避暑の留守中を利用して土用干を女中の仕事に授けて行く人もありますがこれもよい考案ですがよほど信用のある女中か左も無くば家族が一人其監督をしなければ色々の弊害があります、次に土用干をする時の注意ですが先づよく

◆天氣を見定めて 朝からよく晴れた日にします、部屋は直接に日光を受けない處でよく風の通る成る可く廣い部屋がよいのです、又著物を掛るには衣紋竿か紐又は布で作つた縄が適當です、殊に七土用干をする場合にはどんな物でも日光を當るのは禁物ですが殊に著色したものには注意し模樣物などは上から白布のやうなものを覆つて干せばそれに

★越した事はありま せん客夜具などは座敷中に干すのは困難ですし、又多少日に當る必要もありますから是は是非白布を覆つてから干さなねば不可ません

日報俳壇

●藍深き空●

岩山黯う亢と稚ゝ夏の月 紫光
地架唄黙く背山の若葉哉 同
若葉海に陥ち土手や海白き 同
測量旗はためく丘の若葉哉 同
埃り白き電車通りや夏の風 同
雞影多飼ふ山家や萩若葉 同
對岸に灯す家並や海涼し 同
いつ晴るゝ藍深き空夏木立 同
朝風に薔薇の香強き座敷哉 同
庵の風に吹かれ川や丘の家 石
美しき子等の瞳や菱の花 同
工兵の爆破演習や夕立風 同
羽鳴らす美しき蟲や誘蛾燈 同
夜學子の灯點し居るや誘蛾燈 同
寺の横に廣き田より誘蛾燈 同
渡船待つヨボ等に暑き西日哉 同
移り來て短夜嘆き座敷哉 味川
稲を渡り來の棟見若葉哉 青史
風呂の灯に雨の若葉が光る哉 草城
紫水に桐々の葉風や閑古鳥 岩上
井戸端の水に彩紙ゝ若葉哉 花翁
豪雨去つて靜迫る寺の若葉哉 如鬼
空鳴りす座敷の琴や青嵐 （漢城）窓月
デキタリスの花畑に乖れ雨間哉 暮子
王城の軒の暗さよ蚊喰鳥 蕪村
干し物の影打つ窓や夏の月 [illegible]
校門を入る兒の聲や夏夜 空尾
梅雨晴の四尺高き官衙哉 蝶

口句小子來庵 金郊 不考郎

女の袖にふくらんだ涼風よいつ迄つゞく 句平
こま／＼した事はずん／＼のばして暑くれば
○ 不考郎
尻べたな叩く裸におそろしきものなし
ノニスコートの白線にかこまれ裸の夜のわれら
ある男が旅館に荷を解く君の裸よ

○信濃木崎夏期大學 信州木崎夏期大學は昨年に比し申込人員多數に上りたるも宿舍の設備も充分整ひたれば尚多少の申込は許可する筈なりと云ふ ▲時間割第一部（生理學科、化學工科）永井、吉武兩博士は毎日二時間宛交互に相前後して教授、第二部（電氣工學、論理學）青柳博士、吉田教授は毎日三時間宛交互に相前後して教授第三部（心理學）楢崎文學士は毎日三時間宛教授、水泳部毎日午後一時より三時迄實地教授 第三部志望者は參考書として次の書籍を熟讀し置く方が都合なる由、ザント論理第二卷第二冊中の『心理學の論理』上野直昭氏著『精神科學の基本問題』西田博士著『自覺に於ける直觀と反省』 二課外講演講師は澤柳政太郎氏文學博士藤原咲平氏理學博士加藤正治氏法學博士白鳥保英氏文學士今井登志喜氏伊那長七氏藤森良藏氏等なり

新刊紹介（到着順）

▲青年雄辯（夏休み利用號）時代と信念、避暑謝美論、自己の汗、南國の空を旅して、夏の海上生活、夏の琵琶湖巡り佐藤中將外七識者の暑中休暇余談等の人、雄辯の研究、青年雄辯等（二十錢東京牛込矢來町三共社）
▲教育時論（一一九七）十錢東京麴町區飯田町四開發社
▲臺灣教育（一九三）二十錢臺灣總督府民政部學務部內臺灣教育會
▲電氣界（二二八）二十五錢大阪北區若松町二六共社
▲赤い鳥（八月號）十八錢東京北豐島郡高田村共社
▲中央佛教（佛說號）二十五錢東京牛込矢來町一一共社
▲エバナシ（八月號）十一錢東京牛込甲良町二三東京出版社
▲青兒通信（五の七）父母の友二十錢東京小石川林町五七共社
▲藥石叢誌（三七）十錢東京小石川第六天町五二藥石社
▲學術講演集（七月號）二十五錢東京神田表猿樂町四富文堂
▲刀の研究（四の六）二十五錢東京下谷茅町二の三特人社
▲帝國農會報（八の七）十二錢東京赤坂溜池町一帝國農會
▲現代之科學（六の七）二十八錢東京府多摩郡澁谷町下澁谷二一五共社
▲人格と幸福（六の七）七錢京都祇園萬壽小路明治修養會
▲時事評論（一三の六）月二回發行一ヶ月二十一錢東京四谷鹽町三共社）
▲良民（八の七）五錢東京麴町區平河町五の三六共社
▲報德（八の七）六錢鹿兒島市山下町三九五鹿兒島縣報德會事務所
▲陽明（七八）十錢大阪東成郡天王寺村二千八十六番大阪陽明學會

讀者の領分

▲朝鮮殖產銀行株に付正當申込に代かけ申込者一人とかの名で十株二十株申込たる際に前日の抑[illegible]すなりとの御説なれど官り手前勝手の御議では有りませんか何千何萬と申込だのは決してプレミアムを當てにする投機的にあらず即ち應募情況なりしに拘らず[illegible]ものなり君等小口申込の裏面のコンタン如何（正直生）▲喫煙に答ふ兒の禁煙は良策又は良法にあらず唯兄の精神藥にあり生の喫煙も大典記念に禁煙ける此の禁煙にて全治せり（青見生）▲喫煙生に告ぐ予は大正七年一月一日より禁煙したるものなり一箇月間の辛抱は但なせば自然に止む一箇月間の辛抱は君の判斷なる心に依るの外なし余は毎日朝日二袋を吸ひたるものなるも今は口にする必要更になく身體も以前より丈夫になりし感あり希ふ一箇月間の辛抱をなされよ一箇月間の辛抱出來れば永遠に禁煙は行出來るものと信す（禁煙生）▲水道係へお知せします龍山十一番地の電氣會社出張所右の水道のふたが取れて居ますそして廿六日頃には一日少々づゝ水を拔はなしにして居ます僕は五六尺雨の降るのにしめてやつたが雨天にはよく拔ばなしにして居ます少ない水の流出せぬ樣早くなを注意を願ふ一錢五厘の葉書より大へん損ですよ（忠告生）▲松の月樣御親切に有難御禮申上ます御言葉にすがりましてすみませんが何卒貴方の御存じの番の宮川よしみと言ふ者ですから宜敷御願ひ致します（ほうし）▲去る十五日仁川行終列車で永登浦へ降る途中荷物の多い上に小供には寢られ困つて居る私を親切にして下すつた若い方よ私は心から感謝して居ります發車の時一寸御禮申上る暇もなく紙上ながら申述べます（永登浦久保）

◆内地並朝鮮絶好なる中元贈答物

朝鮮人參三優強壯劑

淫羊藿エキス（いんやうくわくえきす）

藥草 通稱三枝九葉草[illegible]

一、神經衰弱症 一、ヒステリー 一、貧血症 一、ヒポコンデリー 一、腎臟病 一、生殖器病 一、老衰 一、肝臟病 一、リウマチス 一、精力減退

以上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにす
二、體力を增し元氣を良くし思考判斷及び記憶力の減耗を恢復す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眠の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及び便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し榮養を良くす
十一、手足腰膝の冷ゆるに良し
十二、陰萎遺精及子宮病に良し
十三、[illegible]に良し
十四、長壽なるべし

定價 [illegible]入金壹圓五十錢 [illegible]入金貳圓[illegible] 送料 鮮內二十錢 鮮外三十錢

全國一手販賣 京城太平通り 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 構內十八番 振替京城三〇〇番

京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

夏季は殊更 香晶を愛させ給へ

結晶香水 香晶 商標 登錄

定價金二十錢

發賣元 東京本町 藤澤商店 大阪道修町

各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり

★サッポロビール

日焦を防ぎ ホンノリ色白くなる レートフード

＝附けてお肌をサラリとし……

素顔を美くしく自然にホンノリ色を白くす。其上完全に日焦を防いで脂肪汗を留めます。お湯上りの素化粧料隱化粧料には天下一品。

レート化粧料本舗 東京 平尾贊平

京城龍山等各地に偽物有御注意

百圓呈上 大阪 大三休橋北詰角 有田ドラッグ商會

りん病 ばい毒 帝國醫科大學院病

淋病藥王藥は治淋劑とし梅毒王藥は驅梅內服藥として醫藥學上最有効と確定し等にて當掛配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈

●あらゆる治療をなすも効なき患者宛に角一度來談あれ

にせ物 東京大阪各地ににせドラッグあり 大阪有田 驛を問ひ取あれ

京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部

京城黃金町三丁目（全支店） 龍山漢江通兵營前停留場（全支店） 釜山大廳町二丁目（全支店） 元山本町三丁目（全支店） 平壤櫻町十二番地（全支店） 仁川宮町二丁目（全支店）

◉朝鮮のにせ物 京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる樣御注意を乞ふ

全國到る所の都市朝鮮滿洲南清等に支店あり 請合藥其他藥店販賣不許

大阪心斎橋筋本町 東京日本橋通四 有田ドラッグ

尼崎汽船仁川出帆

下關大阪直行 第一大湖丸 八月四日 後四時出
群山木浦釜山下關大阪行 君が代丸 八月四日 後四時出
大有丸 八月十一日 後四時出
仁川海岸通二丁目（電話五九番）高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

大連直行（關東都督府命令航路）
廿一共同丸 七月三十日 後入港
朝鮮鐵道主要驛に於て阿波共同汽船株式會社[illegible]
仁川代理店 野口商會 本町四丁目（電話一七三番）
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

敦賀行淸津發城津元山經由 平壤丸 七月 日 元山發
浦汐行大阪發門司釜山元山城津經由 平安丸 七月 日 元山發
雄基行 京畿丸 七月 日 八月一日 元山發
咸鏡丸 八月三日 元山發
越後丸 七月廿八日 七月三十日 元山發
[illegible]

大阪商船出帆

神戶大阪行（仁川出帆） 安東丸 七月 日 後五時出
群山木浦行 月 日 正午出
[illegible]
京城南大門驛前 松原運送店 電話長二七〇番

御注意 內地各港出帆主要航路 [illegible]
大阪商船株式會社 京城支店 電話二一〇八番